

平成18年度兵庫県公立高等学校入学者選抜 における複数志願選抜及び特色選抜の検証結 果について(神戸第三、姫路・福崎、加印学区)

検証のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

志願者数、志願・合格状況等のデータとその分析・・・ 4

新入生、新入生保護者、中学校及び高等学校対象の
アンケート実施結果とその分析・・・・・・・・ 11

〔参 考〕

「新しい選抜制度」に関するアンケート
(高校新入生用、高校新入生保護者用、中学校用、高等学校用)

はじめに

兵庫県教育委員会では、個性を尊重する多様で柔軟な高等学校教育を目指し、県立高等学校教育改革第一次実施計画に従って、新しいタイプの学校の設置をはじめ、学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを推進している。

また、特色ある学校づくりと併せ、入学者選抜制度においても、平成15年度入学者選抜から神戸第三学区に、平成17年度入学者選抜から姫路・福崎学区に、平成18年度から加印学区に、単独選抜と総合選抜の長所を取り入れた複数志願選抜と、各学校が特色ある教育内容に即して生徒の多様な個性や優れた点等を評価する特色選抜を導入し、平成19年度入学者選抜からは北播学区、平成20年度入学者選抜からは、尼崎学区と明石学区においても実施することとしている。

この新しい選抜制度は、過度の受験競争や学校間の序列を緩和し、生徒がそれぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて、「学びたいことが学べる」学校を選択できることを目的としている。

そこで、この新しい選抜制度について、平成15年度から平成17年度までと同様、平成18年度においても、生徒の志願動向や合否の状況などの検証を行うとともに、高等学校新入生及びその保護者、中学校、高等学校を対象として実施したアンケート調査の結果をまとめた。その結果をみると、実施4年目となる神戸第三学区では制度が定着してきたことが読み取れ、実施2年目となる姫路・福崎学区では、学区の地域性による独自の傾向が多少あるものの、制度の定着が進み始めている。また、実施初年度の加印学区では、神戸第三学区及び姫路・福崎学区の初年度と比べてより制度の理解が進んだ結果、神戸第三学区、姫路・福崎学区とほぼ同じ傾向が見られ、いずれも新しい選抜制度の目的に沿ったものとなっている。

今後とも、新しい選抜制度について県民の理解が一層進み、定着が図れるよう努めたい。

検証のまとめ

平成18年度の検証にあたっては、平成15年度から17年度までと同様、志願状況・合格状況等のデータの分析を行うとともに、5月に神戸第三、姫路・福崎、加印学区の新入生、保護者、中学校及び高等学校へのアンケートを実施した。その結果は、下記のように、制度は定着しつつあり、新しい選抜制度の目的に沿ったものとなった。

- 1 学びたいことが学べる学校への志願が一層進んでいる。
 - (1) いずれの学区においても学びたい学校を志願し、入学者の90%以上が第1志望で合格している。
 - (2) いずれの学区においても、新入生及び保護者の約90%が高校生活について「充実している」と答えており、満足度が高い。
 - (3) 複数校に志願した受検生の合格率が高く、昨年度までと同様にセーフティネットの効果が現れている。
- 2 目的意識を持った幅広い学校選択が進み、学校の活性化につながっている。
 - (1) 複数志願選抜における第1志望校の決め手については、いずれの学区においても、「校風・学校の雰囲気」が最も多い。また、学校ごとに見ると決め手の理由に特徴があるなど、幅広い学校選択が進んでいる。
 - (2) 特色選抜における志望校の決め手については、いずれの学区においても、「特色ある学習内容」が最も多く、受検生は各校の特色を理解した上で志望している。その結果、学校生活に積極的に取り組む入学生が増え、学校の活性化につながっている。
- 3 新しい選抜制度の周知・理解が進み、制度が定着している。
 - (1) 神戸第三学区、姫路・福崎学区で制度を「理解していた」と答えた新入生・保護者の割合が増え、制度の定着が進んでいる。
 - (2) 加印学区では、他の2つの学区の制度導入初年度と比べて制度の理解度は高く、新しい選抜制度を円滑に導入することができた。

今後、生徒が「学びたいことが学べる」学校を選択できるよう、各学校の特色化をさらに推進するとともに、新しい選抜制度の理念の啓発に努めながら、制度を充実・定着させていきたいと考えている。

なお、具体的なデータ等については、次ページ以降の「志願者数、志願・合格状況等のデータとその分析」及び「新入生、新入生保護者、中学校及び高等学校対象のアンケート実施結果とその分析」において記載している。

志願者数、志願・合格状況等のデータとその分析

1 定員、志願者数、受験者数、合格者数、受験倍率について

(1) 複数志願選抜について

神戸第三学区及び姫路・福崎学区の倍率をみると全県の倍率より高いものとなっているが、その差は年々減少している。また、各学校の倍率については、隔年現象の傾向が見られる。

姫路・福崎学区において、2校で定員割れとなった。

平成18年度が実施初年度となる加印学区では、単独選抜最終年度の倍率とほぼ同様な倍率となった。

a 神戸第三学区

複数志願選抜対象高校名	総募集定員	複数志願選抜募集定員	志願者数 (第1志望)	複数志願選抜対象校以外への志願変更等	受験者数 (第1志望)	(第2志望)各高校を第2志望とした者の数	合格者数	倍率	倍率	倍率	倍率	倍率
長田	320	320	343	1	342	(2)	320	1.07	1.23	1.06	1.12	1.04
須磨東	320	320	362	8	354	(231)	320	1.11	1.03	1.11	1.03	1.10
舞子	240	240	256	11	245	(206)	240	1.02	1.05	1.01	0.84	1.02
星陵	320	304	390	5	385	(131)	304	1.27	1.42	1.26	1.35	1.07
伊川谷北	320	288	367	10	357	(159)	288	1.24	1.14	1.45	1.44	1.09
伊川谷	280	252	276	4	272	(298)	252	1.08	1.06	1.19	0.96	1.13
神戸高塚	280	240	269	9	260	(217)	240	1.08	0.94	1.23	1.01	1.26
市須磨	240	204	264	9	255	(256)	204	1.25	1.28	1.14	1.27	1.05
市神戸西	200	170	178	1	177	(230)	170	1.04	1.25	1.03	1.15	1.04
計	2520	2338	2705	58	2647		2338	1.13	1.15	1.17	1.13	1.10
計	2560	2408	2812	35	2777		2408					
計	2800	2634	3130	53	3077		2634					
計	2920	2814	3320	131	3189		2814					
全県の全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.06	1.07	1.06	1.05	1.06

「倍率」 = 「受験者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

b 姫路・福崎学区

複数志願 選抜対象 高校名	総募集 定員	複数志願選 抜募集定員	志願 者数 (第1志望)	複数志願選抜 対象校以外へ の志願変更等	受検 者数 (第1志望)	(第2志望) 各高校を第2志 望とした者の数	合格 者数	倍率	倍率	倍率
姫路別所	200	170	192	4	188	(144)	170	1.11	1.20	1.15
姫路西	280	280	335	17	318	(0)	280	1.14	1.07	1.03
姫路飾西	160	160	139	4	135	(116)	155	0.84	1.25	1.12
姫路南	240	204	260	3	257	(109)	204	1.26	0.97	1.07
網干	200	171	208	1	207	(187)	171	1.21	1.04	1.19
家島	40	34	34		34	(4)	34	1.00	0.29	0.74
夢前	120	102	97	5	92	(47)	102	0.90	1.03	0.97
神崎	80	68	91	4	87	(63)	68	1.28	1.22	1.05
福崎	200	200	187		187	(110)	200	0.94	0.95	1.09
市姫路	240	240	323	26	297	(109)	240	1.24	1.39	1.16
市琴丘	280	280	247	2	245	(174)	267	0.88	1.21	1.04
市飾磨	240	240	273	10	263	(293)	240	1.10	1.29	1.15
計	2280	2149	2386	76	2310		2131	1.07	1.14	1.10
計	2320	2228	2600	108	2492		2188			
計	2360	2360	2508	49	2557		2332			
全県的全日制普通科高等学校の倍率(単位制を除く)								1.06	1.07	1.06

「倍率」 = 「受験者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

c 加印学区

複数志願 選抜対象 高校名	総募集 定員	複数志願選 抜募集定員	志願 者数 (第1志望)	複数志願選抜 対象校以外へ の志願変更等	受検 者数 (第1志望)	(第2志望) 各高校を第2志 望とした者の数	合格 者数	倍率	倍率
加古川東	280	280	286		286	(0)	280	1.02	1.11
加古川西	320	304	352	4	348	(130)	304	1.15	1.13
高砂	280	240	321	26	295	(264)	240	1.23	1.05
高砂南	280	240	261	17	244	(226)	240	1.02	1.02
松陽	120	102	124	7	117	(214)	102	1.15	1.09
東播磨	280	252	269	3	266	(227)	252	1.06	1.10
播磨南	240	240	249	8	241	(225)	240	1.00	1.05
計	1800	1658	1862	65	1797		1658	1.08	1.07
計	1840	1840	1954	30	1984		1840		
全県的全日制普通科高等学校の倍率（単位制を除く）								1.06	1.07

「倍率」 = 「受験者数」 ÷ 「複数志願選抜募集定員」

(2) 特色選抜について

神戸第三学区、姫路・福崎学区とも、学区内倍率が昨年度に比べそれぞれ - 0.48 ポイント、
- 0.86 ポイントとなった。これは、どちらの学区においても昨年度に比べ募集割合が増えた
ためと考えられる。

加印学区では、学区内倍率が 3.37 倍と高くなっており、これは実施初年度であるためと考
えられる。

a 神戸第三学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	倍率	倍率	倍率	倍率
星 陵	320	16	5%	69	69	16	4.31	4.06	2.94	-
伊川谷北	320	32	10%	120	120	32	3.75	3.41	3.75	3.67
伊 川 谷	280	28	10%	48	48	28	1.71	1.71	1.66	-
神戸高塚	280	40	上限	92	92	40	2.30	2.88	2.00	5.94
市 須 磨	240	36	15%	90	90	36	2.50	3.50	2.25	4.68
市神戸西	200	30	15%	76	76	30	2.53	4.35	2.92	4.21
計	1640	182		495	495	182	2.72	3.20	2.55	4.44

b 姫路・福崎学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	倍率	倍率
姫路別所	200	30	15%	54	54	30	1.80	2.80
姫 路 南	240	36	15%	72	72	36	2.00	2.54
網 干	200	30	15%	30	29	29	0.97	1.70
家 島	40	6	15%	18	18	6	3.00	1.88
夢 前	120	18	15%	23	23	18	1.28	2.50
神 崎	80	12	15%	19	19	12	1.58	4.13
計	880	132		216	215	131	1.63	2.49

c 加印学区

対象高校名	入学者の定員	特色選抜定員	割合	志願者数	受検者数	合格者数	倍率
加古川西	320	16	5%	146	145	16	9.06
高砂	280	40	15%	114	114	40	2.85
高砂南	280	40	15%	114	113	40	2.83
松陽	120	18	15%	27	27	18	1.50
東播磨	280	28	10%	79	79	28	2.82
計	1280	142		480	478	142	3.37

2 学びたい学校への志願・合格状況について

(1) 志願パターン別志願・合格状況

神戸第三学区では、第1志望校のみを志願した受検生は、全体の3分の1であり、これは16年度、17年度とほぼ同じ傾向である。

姫路・福崎学区では、他の学区に比べ第1志望校のみを志願した割合がやや高く、その他校を志願した割合が低い。

加印学区では、他の学区に比べ第1志望校のみを志願した割合がやや低く、第1・第2・その他校志望の割合が高い。

いずれの学区においても第1志望校のみの受検生の合格率に比べて複数志願をした受検生の合格率は高い。

a 神戸第三学区(9校計)

志願パターン	志 願 状 況					合 格 状 況					
	人数	割合	割合	割合	割合	合格	不合格	合格率	合格率	合格率	合格率
第1志望校のみ	881	33.3%	32.2%	30.7%	35.4%	692	189	78.5%	76.5%	76.1%	77.0%
第1志望校、第2志望校	1326	50.1%	48.5%	49.0%	49.4%	1254	72	94.6%	93.5%	91.8%	95.4%
第1・第2志望校、その他校	404	15.3%	17.6%	18.7%	14.1%	367	37	90.8%	88.5%	86.2%	92.0%
第1志望校、その他校	36	1.4%	1.7%	1.5%	1.1%	25	11	69.4%	66.7%	70.2%	83.8%
計	2647	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	2338	309	88.3%	86.7%	85.6%	88.2%

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

b 姫路・福崎学区（12校計）

志願パターン	志願状況			合格状況			
	人数	割合	割合	合格	不合格	合格率	合格率
第1志望校のみ	953	41.3%	37.0%	806	147	84.6%	75.5%
第1志望校、第2志望校	1337	57.9%	60.3%	1305	32	97.6%	95.3%
第1・第2志望校、その他校	19	0.8%	2.4%	19	0	100.0%	88.1%
第1志望校、その他校	1	0.04%	0.3%	1	0	100.0%	100.0%
計	2310	100.0%	100.0%	2131	179	92.3%	86.7%

注：「その他校」：第1志望、第2志望以外の学校

c 加印学区（7校計）

志願パターン	志願状況		合格状況		
	人数	割合	合格	不合格	合格率
第1志望校のみ	495	27.5%	419	76	84.6%
第1志望校、第2志望校	991	55.1%	957	34	96.6%
第1・第2志望校、その他校	295	16.4%	273	22	92.5%
第1志望校、その他校	16	0.9%	9	7	56.3%
計	1797	100.0%	1658	139	92.3%

(2) 志願ごとの合格者数

いずれの学区においても、合格者のうち第 1 志望校に合格した受検生の割合が 9 0 % を越えている。

いずれの学区においても、合格者のうち第 1 または第 2 志望に合格した受検生の割合は、9 9 % を越えている。

いずれの学区においても、その他校への合格者がある。

a 神戸第三学区 (9 校計)

志 望	人 数	割 合	割 合	割 合	割 合
第 1 志 望	2150	92.0%	92.1%	90.4%	91.6%
第 2 志 望	172	7.4%	7.3%	9.3%	7.7%
そ の 他 校	16	0.7%	0.6%	0.3%	0.7%
計	2338	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

b 姫路・福崎学区 (1 2 校計)

志 望	人 数	割 合	割 合
第 1 志 望	1951	91.6%	88.3%
第 2 志 望	178	8.4%	11.6%
そ の 他 校	2	0.1%	0.1%
計	2131	100.0%	100.0%

c 加印学区 (7 校計)

志 望	人 数	割 合
第 1 志 望	1564	94.3%
第 2 志 望	84	5.1%
そ の 他 校	10	0.6%
計	1658	100.0%

新入生、新入生保護者、中学校及び高等学校対象のアンケート実施結果とその分析

調査の概要

- 1 調査対象者（有効回答数7,542名/7,840名、回答率96.2%）
 - (1) 神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区の普通科（コースを除く）高校の新入生全員
 - (2) 神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区の普通科（コースを除く）高校の新入生保護者から各校40名
 - (3) 神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区の普通科学校長全員
 - (4) 神戸第三学区、姫路・福崎学区、加印学区（自由学区を含む）の中学校長全員

2 詳細

(1) 神戸第三学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校9校の普通科（コースを除く）への高校新入生全員（2,520名）	選択方式	2,445名 (回答率97.0%)
高校新入生保護者アンケート	対象校9校の普通科（コースを除く）への高校新入生の保護者から抽出（各校40名×9校=360名）	選択方式及び自由記述方式	316名 (回答率87.8%)
高等学校長アンケート	対象校9校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	9名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	神戸第三学区内の市立中学校の校長（39名）	選択方式及び自由記述方式	39名 (回答率100.0%)
小計	(2,928名)		2,809名 (回答率95.9%)

(2) 姫路・福崎学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校12校の普通科（コースを除く）への高校新入生全員（2,261名）	選択方式	2,190名 (回答率96.9%)
高校新入生保護者アンケート	対象校12校の普通科（コースを除く）への高校新入生の保護者から抽出（各校40人×12校=480名）	選択方式及び自由記述方式	417名 (回答率86.9%)
高等学校長アンケート	対象校12校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	12名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	姫路・福崎学区内の市町立中学校の校長（50名）	選択方式及び自由記述方式	50名 (回答率100.0%)
小計	(2,803名)		2,669名 (回答率95.2%)

(3) 加印学区

種 類	対 象	形 式	有 効 回 答 数
高校新入生アンケート	対象校7校の普通科（コースを除く）への高校新入生全員（1,800名）	選択方式	1,757名 (回答率97.6%)
高校新入生保護者アンケート	対象校7校の普通科（コースを除く）への高校新入生の保護者から抽出（各校40人×7校=280名）	選択方式及び自由記述方式	273名 (回答率97.5%)
高等学校長アンケート	対象校7校の高等学校長	選択方式及び自由記述方式	12名 (回答率100.0%)
中学校長アンケート	加印学区内の市町立中学校の校長（22名）	選択方式及び自由記述方式	22名 (回答率100.0%)
小計	(2,109名)		2,064名 (回答率97.9%)

1 新入生の学校生活について
 (1) 高校生活の充実度について

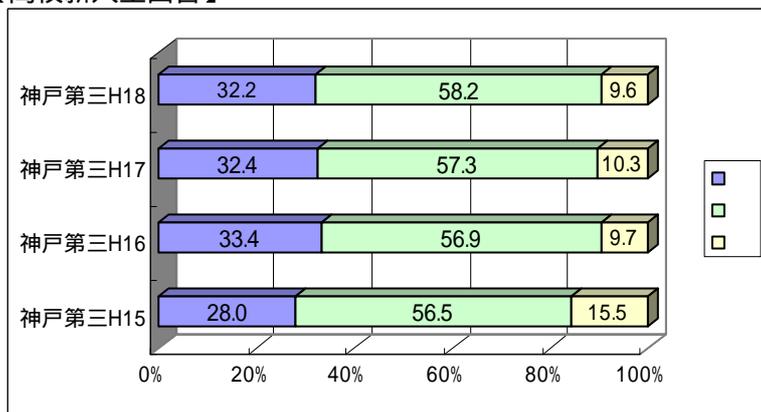
神戸第三学区においては、17年度に引き続き90%以上の新入生が学校生活が充実していると答えており、充実した学校生活を送っている新入生の割合が増加傾向にある。入学区分別では特色選抜による入学者の充実度が約95%と最も高く、複数志願選抜の第1志望で入学した生徒の充実度は昨年度より高くなっている。また、保護者に子どもの学校生活の充実度を聞いたところ、約94%が充実していると答えている。

姫路・福崎学区においては、約86%の新入生が学校生活が充実していると答えている。入学区分別では複数志願選抜の第2志望で入学した生徒の充実度と第一志望で入学した生徒の充実度が同程度になっている。また、保護者に子どもの学校生活の充実度を聞いたところ、約89%が充実していると答えている。

加印学区においては、約89%の新入生が学校生活が充実していると答えており、単独選抜実施最終年度の17年度より充実度が増えている。入学区分別では、神戸第三学区と同様に特色選抜で入学した生徒の充実度が約95%と最も高くなっている。また、保護者に子どもの学校生活の充実度を聞いたところ、約93%が充実していると答えている。

a 神戸第三学区

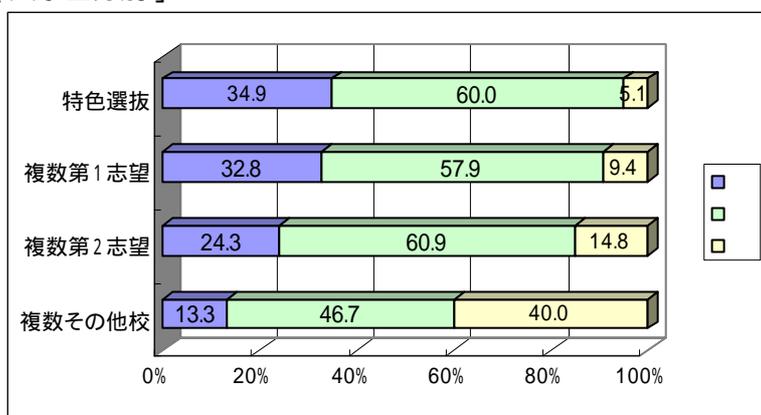
問 現在、充実した高校生活を送っていますか
 【高校新入生回答】



大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

神戸第三H18：神戸第三学区平成18年度新入生 神戸第三H17：神戸第三学区平成17年度新入生
 神戸第三H16：神戸第三学区平成16年度新入生 神戸第三H15：神戸第三学区平成15年度新入生

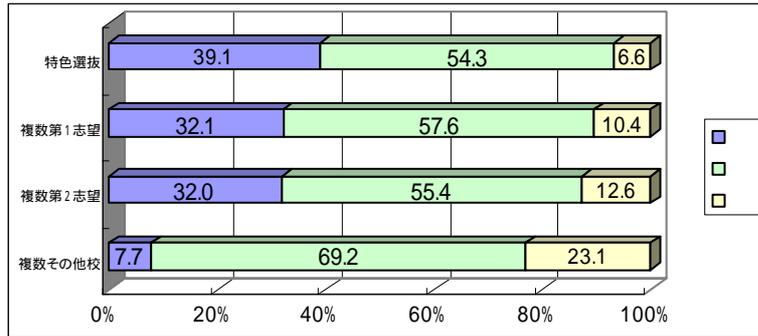
[入学区分別]



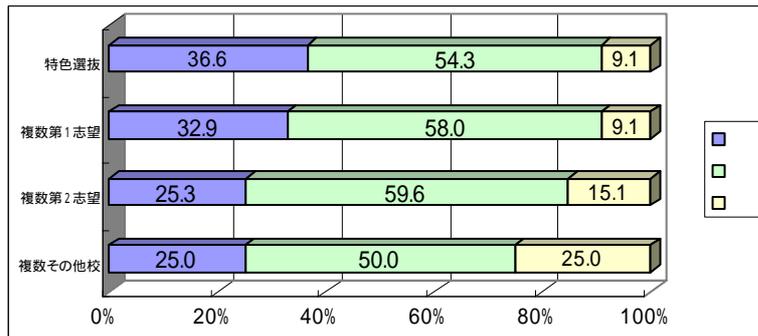
大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

特色選抜：特色選抜で入学 (回答者は 175名)
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学 (回答者は2073名)
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学 (回答者は 169名)
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学 (回答者は 15名)

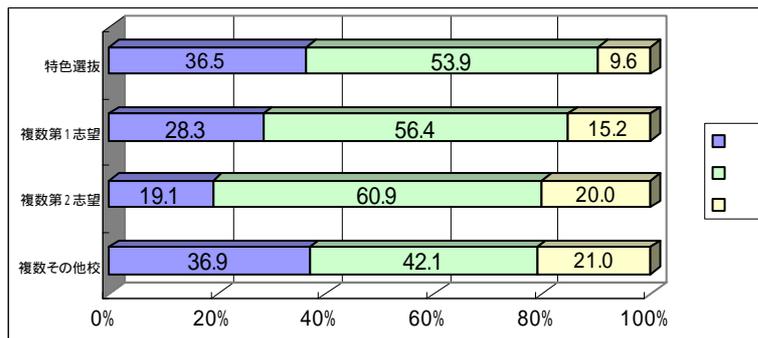
【参考】平成17年度
神戸第三学区



平成16年度
神戸第三学区

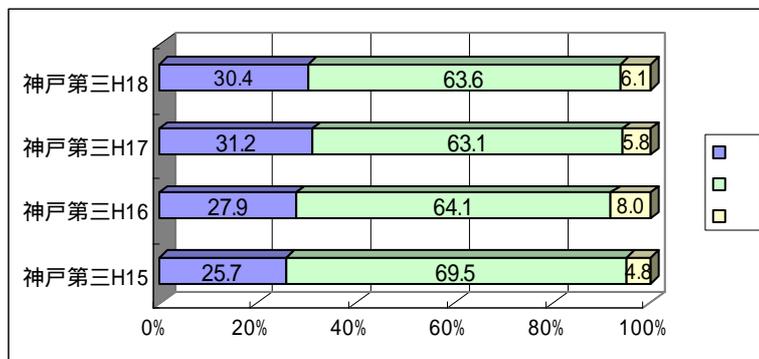


平成15年度
神戸第三学区



特色選抜：特色選抜で入学
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学

問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか
 【高校新入生保護者回答】



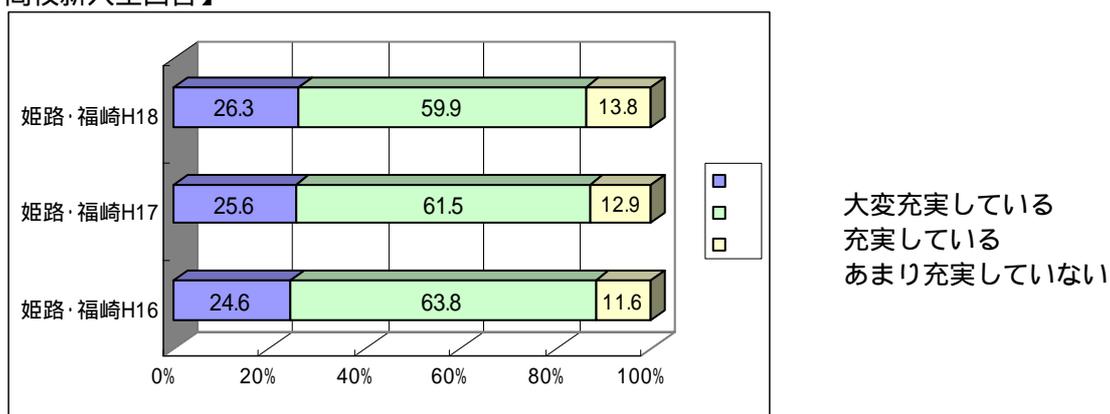
大変充実している
 充実している
 あまり充実していない

神戸第三H18：神戸第三学区平成18年度新入生
 神戸第三H17：神戸第三学区平成17年度新入生
 神戸第三H16：神戸第三学区平成16年度新入生
 神戸第三H15：神戸第三学区平成15年度新入生

b 姫路・福崎学区

問 現在、充実した高校生活を送っていますか

【高校新入生回答】

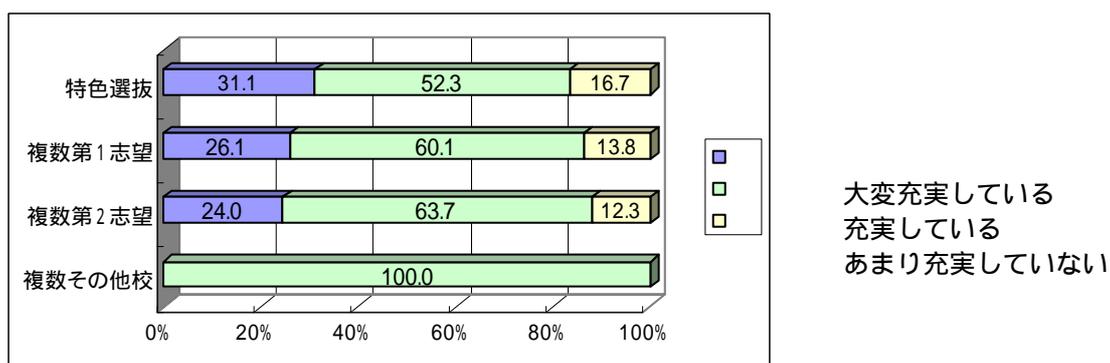


姫路・福崎H18：姫路・福崎学区平成18年度新入生

姫路・福崎H17：姫路・福崎学区平成17年度新入生

姫路・福崎H16：姫路・福崎学区平成16年度新入生（単独選抜最終年度）

[入学区分別]



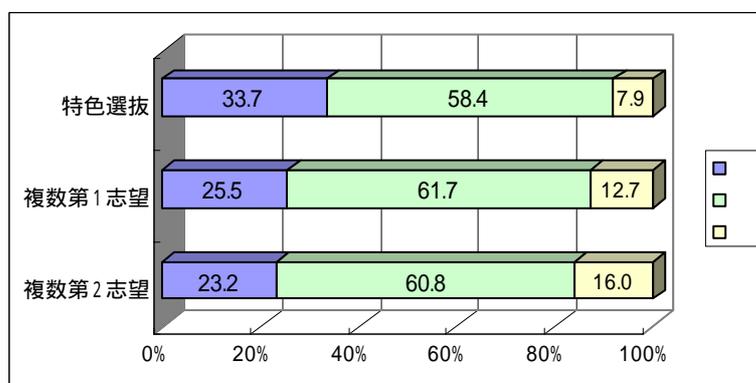
特色選抜：特色選抜で入学（回答者は 132名）

複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学（回答者は1823名）

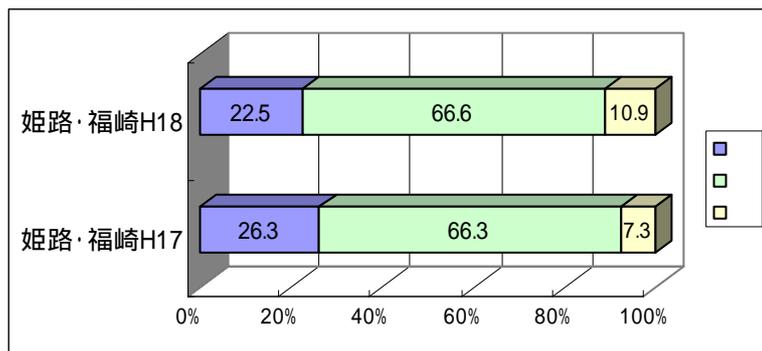
複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学（回答者は 171名）

複数その他校：複数志願選抜その他校で入学（回答者は 1名）

【参考】平成17年度
姫路・福崎学区



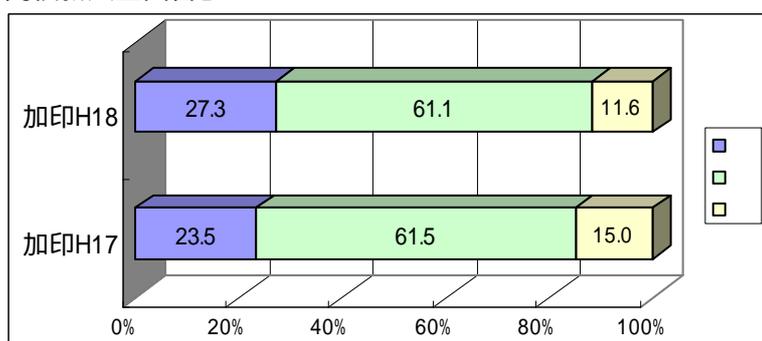
問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか
【高校新入生保護者回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

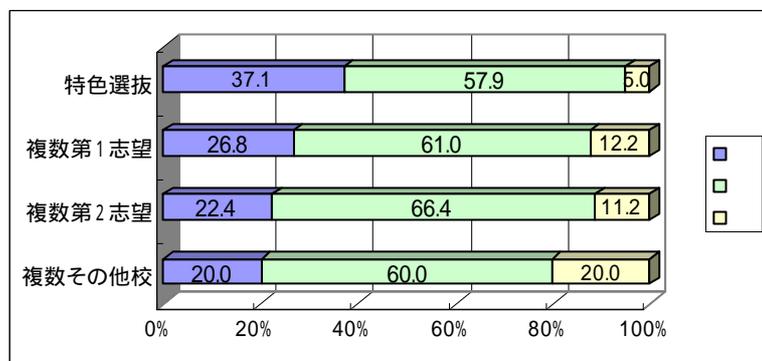
c 加印学区

問 現在、充実した高校生活を送っていますか
【高校新入生回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

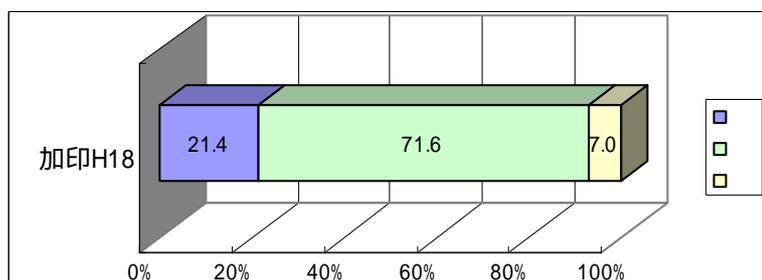
[入学区分別]



大変充実している
充実している
あまり充実していない

特色選抜：特色選抜で入学（回答者は 140名）
 複数第1志望：複数志願選抜第1志望で入学（回答者は1486名）
 複数第2志望：複数志願選抜第2志望で入学（回答者は 107名）
 複数その他校：複数志願選抜その他校で入学（回答者は 10名）

問 お子さんは、現在充実した高校生活を過ごしておられますか
【高校新入生保護者回答】



大変充実している
充実している
あまり充実していない

(2) 新入生の学校生活への取り組み状況について

神戸第三学区において、第2志望やその他校で入学した生徒の学校生活への取り組みを高等学校長に聞いたところ、第1志望で入学した生徒と「変わらない」という答えが多かった。また、特色選抜で入学した生徒の学校生活への取り組みについては、2校が複数志願選抜で入学した生徒よりも様々な活動に積極的に取り組んでいると答えている。

姫路・福崎学区において、第2志望やその他校で入学した生徒の学校生活への取り組みを高等学校長に聞いたところ、第1志望の入学生と比べて、積極的に学校生活に取り組んでいると答えた学校は、4校あった。また、特色選抜で入学した生徒の学校生活への取り組みについては、3校が複数志願選抜で入学した生徒よりも様々な活動に積極的に取り組んでいると答えている。

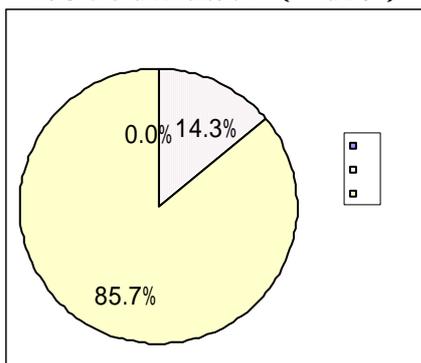
加印学区において、複数志願選抜実施初年度となる18年度入学生の課外活動等への取り組みについて、単独選抜最終年度である17年度入学生との違いを聞いたところ、「変わらない」という答えが多く、学習への取り組みについては、3校が「積極的である」と答えている。

加印学区において、第2志望やその他校で入学した生徒の学校生活への取り組みを高等学校長に聞いたところ、第1志望の入学生と比べて、積極的に学校生活に取り組んでいると答えた学校は、2校あった。また、特色選抜で入学した生徒の学校生活への取り組みについては、3校が複数志願選抜で入学した生徒よりも様々な活動に積極的に取り組んでいると答えている。

a 神戸第三学区

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(7校中)



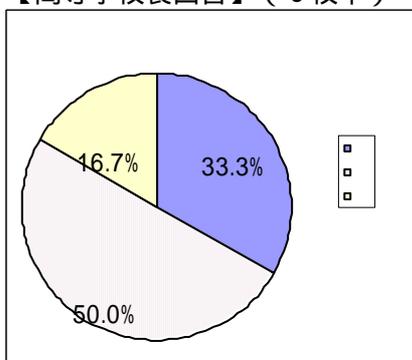
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・本校の特色をあまり理解せずに入学者が多い。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(6校中)



違いがある
やや違いがある
変わらない

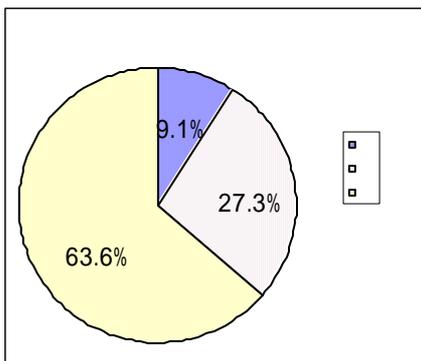
【 についての具体的な意見】

- ・入学した生徒の意識が高く、リーダーシップを発揮しボランティア活動にも積極的である。
- ・いわゆる学力面で課題のある生徒がいる。

b 姫路・福崎学区

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(11校中)



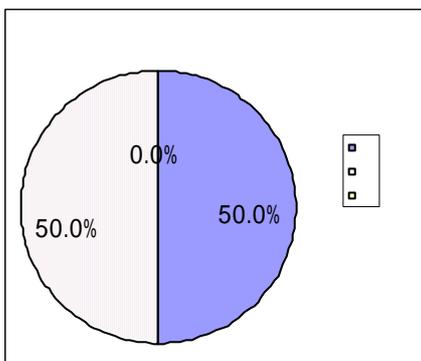
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・学習に対して意欲的な取り組みを示している。
- ・第2志望で入学したことに対するこだわりはなく生活している。学習面での意欲が高く、日々努力する姿勢が見られる。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】(6校中)



違いがある
やや違いがある
変わらない

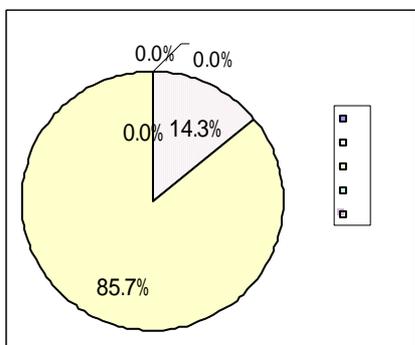
【 についての具体的な意見】

- ・何事にも積極的に学校生活に取り組んでいる。
- ・表情も明るく楽しい学校生活を送っている。
- ・部活動の取り組みが積極的である。
- ・目的意識が高く、コミュニケーション能力や文章を書く能力が高い。
- ・部活動に関しては高い意欲を示すが、学習活動は低調である。

c 加印学区

問 昨年度入学した1年生(単独選抜入学生)と比較して、今年度入学した1年生(複数志願選抜入学生)の学校行事や部活動等の課外活動などに対する取り組みはどうか

【高等学校長回答】(7校中)



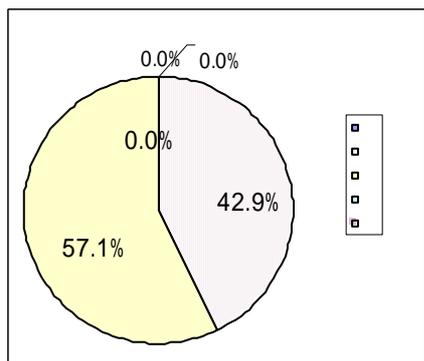
積極的
やや積極的
変わらない
やや消極的
消極的

【 についての具体的な意見】

- ・部活動の入部率が高くなった。

問 昨年度入学した1年生（単独選抜入学生）と比較して、今年度入学した1年生（複数志願選抜入学生）の学習に対する取り組みはどうか

【高等学校長回答】（7校中）



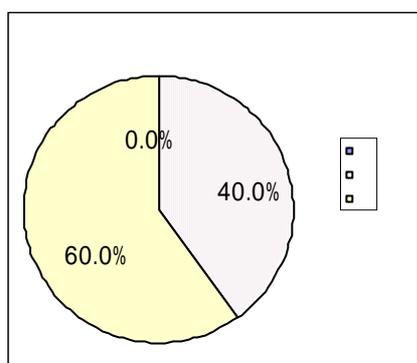
積極的
やや積極的
変わらない
やや消極的
消極的

【 についての具体的な意見】

- ・授業態度が落ち着いている。
- ・小テストの取り組み、課題の提出状況がよい。

問 第2志望やその他校で入学した生徒について、第1志望で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】（5校中）



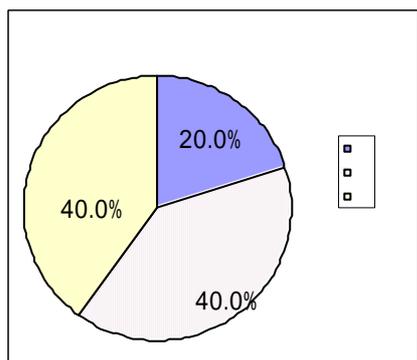
違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

- ・第2志望で入学した生徒の方が学習活動に対して意欲的な面がある。
- ・進学希望が多く、家庭学習の時間が長い。

問 特色選抜で入学した生徒について、複数志願選抜で入学した生徒と比較して学習や学校生活の取り組みに違いはありますか

【高等学校長回答】（5校中）



違いがある
やや違いがある
変わらない

【 についての具体的な意見】

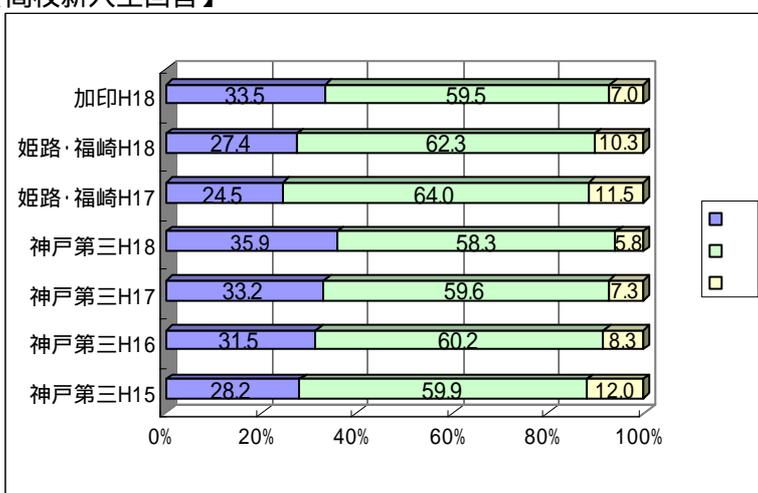
- ・課題に取り組む意欲が高く、学校生活に前向きに取り組んでいる。
- ・個性的な生徒が多い。

2 新しい選抜制度への理解度について
 (1) 複数志願選抜への理解度について

神戸第三学区においては約94%の新生が、姫路・福崎学区においては約90%の新生が、加印学区においては約93%の新生が、複数志願選抜の内容について理解していたと答えている。神戸第三学区及び姫路・福崎学区では年々理解度が増している。また、新生保護者については、神戸第三学区においては、「よく理解していた」と答えた割合が17年度より10%増えて約42%となり、また、姫路・福崎学区においても「よく理解していた」と答えた割合が増加しており、制度の定着が進んでいる。加印学区においては理解していたと答えた新生保護者の割合は約92%であり、神戸第三学区や姫路・福崎学区の初年度より高い理解度となっている。

中学校に、生徒や保護者に説明する上で説明が難しかったところを聞いたところ、いずれの学区においても「合否判定に関する説明」が最も高い割合になっている。

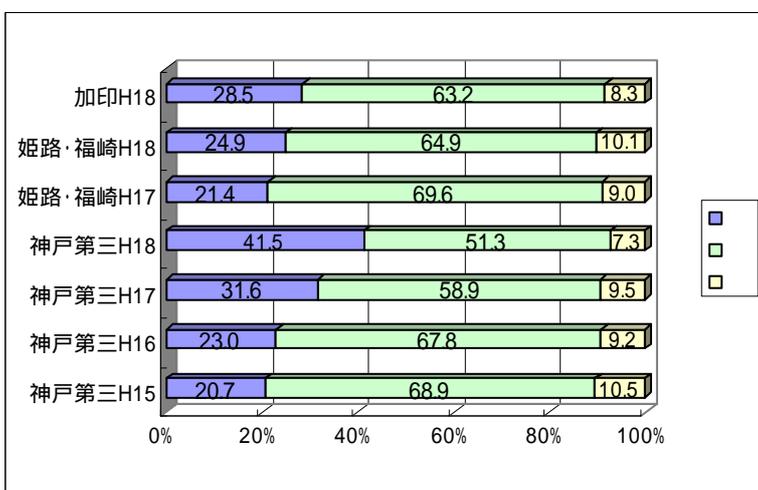
問 複数志願選抜の内容について理解していましたが
 【高校新生回答】



よく理解していた
 だいたい理解していた
 あまり理解していなかった

加印H18 : 加印学区平成18年度新生
 姫路・福崎H18 : 姫路・福崎学区平成18年度新生
 姫路・福崎H17 : 姫路・福崎学区平成17年度新生
 神戸第三H18 : 神戸第三学区平成18年度新生
 神戸第三H17 : 神戸第三学区平成17年度新生
 神戸第三H16 : 神戸第三学区平成16年度新生
 神戸第三H15 : 神戸第三学区平成15年度新生

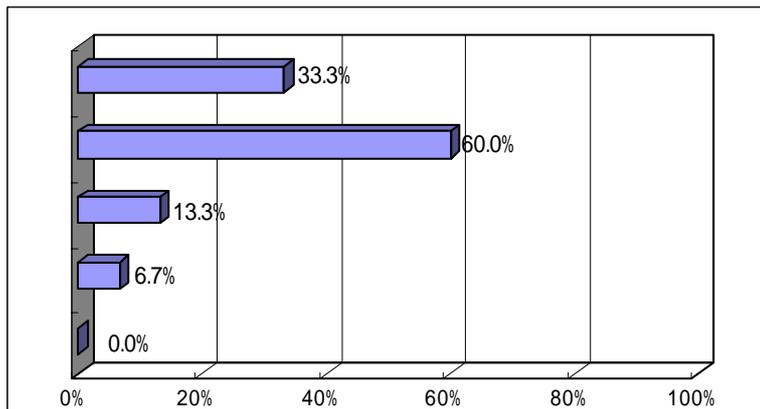
【高校新生保護者回答】



よく理解していた
 だいたい理解していた
 あまり理解していなかった

問 生徒や保護者に説明する上で、説明が最も難しかったのはどの部分ですか

【神戸第三学区中学校回答】



第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法

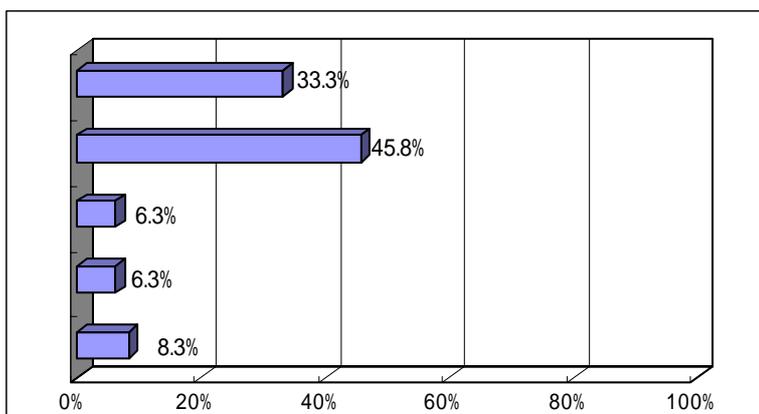
合否判定に関する説明

志願変更に関する説明

第1志望加算点に関する説明

その他

【姫路・福崎学区中学校回答】



第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法

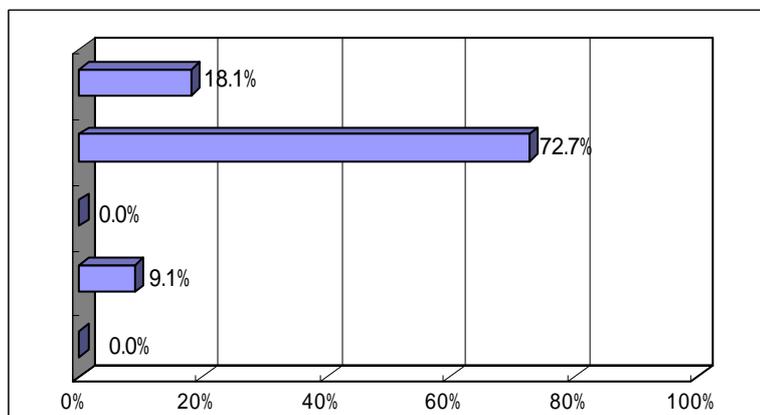
合否判定に関する説明

志願変更に関する説明

第1志望加算点に関する説明

その他

【加印学区中学校回答】



第1志望校、第2志望校、第1・第2志望以外の高等学校への具体的な志願方法

合否判定に関する説明

志願変更に関する説明

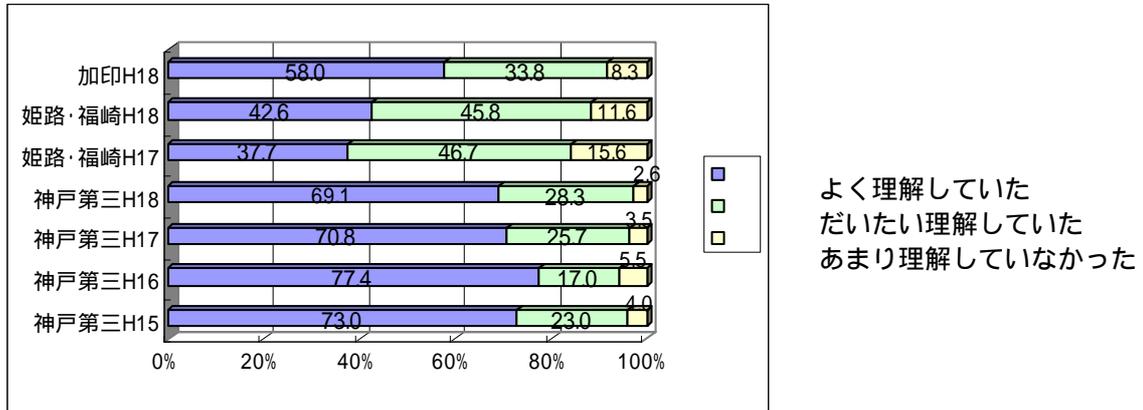
第1志望加算点に関する説明

その他

(2) 特色選抜への理解度について

神戸第三学区においては、特色選抜による入学者の約97%が、姫路・福崎学区においては、約88%が特色選抜の内容について理解していると答えており、17年度と比べて理解度が増している。加印学区においては、約92%の入学者が「特色選抜を理解している」と答えており、これは姫路・福崎学区の導入初年度より高い値である。

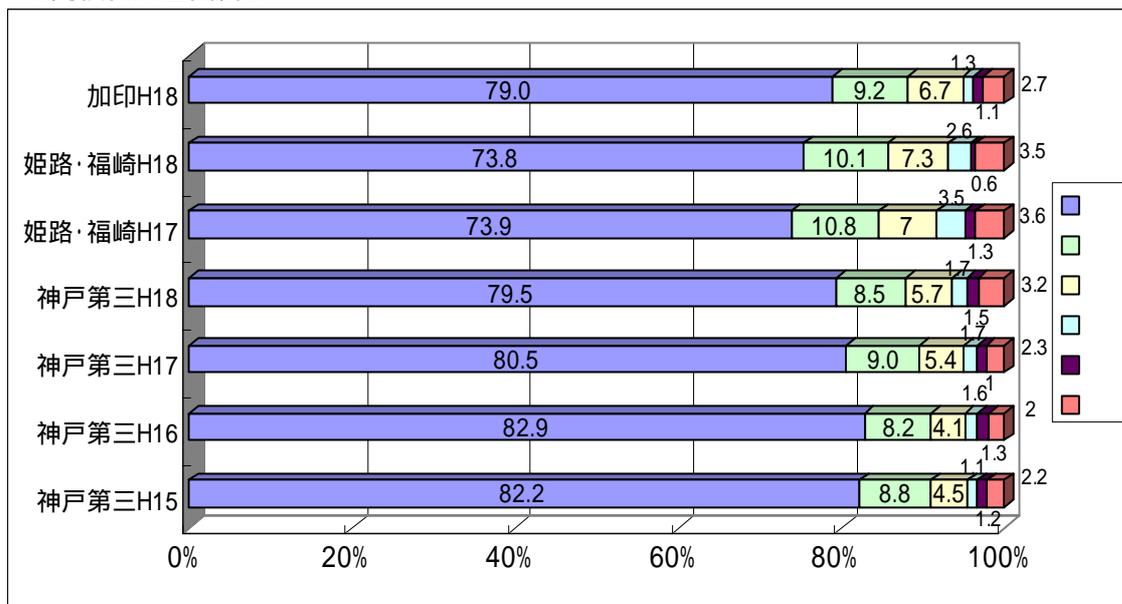
問 特色選抜の内容について理解していましたか（特色選抜による入学者）
【高校新入生回答】



3 志望校の決め手について
(1) 志望校の決定について

神戸第三学区においては、約80%を越える新入生が、姫路・福崎学区では約74%の新入生が、加印学区では約79%の新入生が志望校を自分自身で決定しており、「学びたいことが学べる」複数志願選抜の長所が生かされている。

問 志望校はどのようにして決めましたか
【高校新入生回答】



自分自身
塾の先生のすすめ
中学校の先生のすすめ
知人・先輩・友人のすすめ
家族・親戚のすすめ
その他

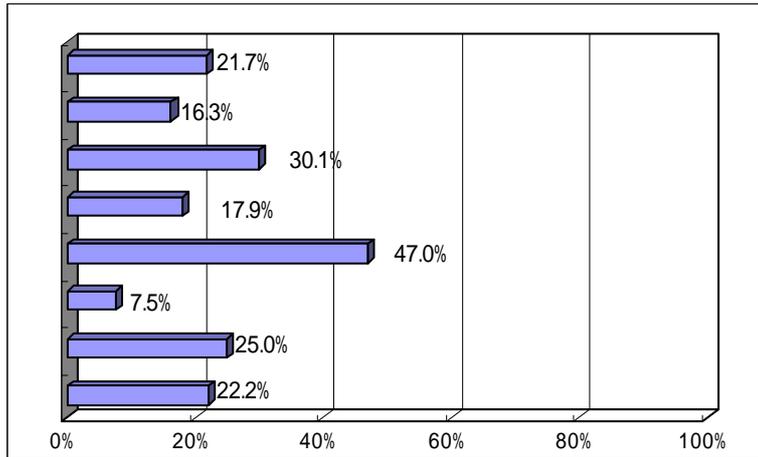
(2) 複数志願選抜の第1志望校の決め手について

いずれの学区においても、第1志望校の決め手は「校風・学校の雰囲気」の割合が最も高い。それぞれの学区において、学校別に比較すると、「校風・学校の雰囲気」が志望校の決め手とされている学校や、「特色ある学習内容」が志望校の決め手とされている学校、「校風・学校の雰囲気」と「大学等への進学や就職の状況」が決め手とされている学校など、志望校選択の決め手に学校ごとの特徴が見られ、いわゆる「受験学力」のみによらない学校選択が進んでいる。

a 神戸第三学区

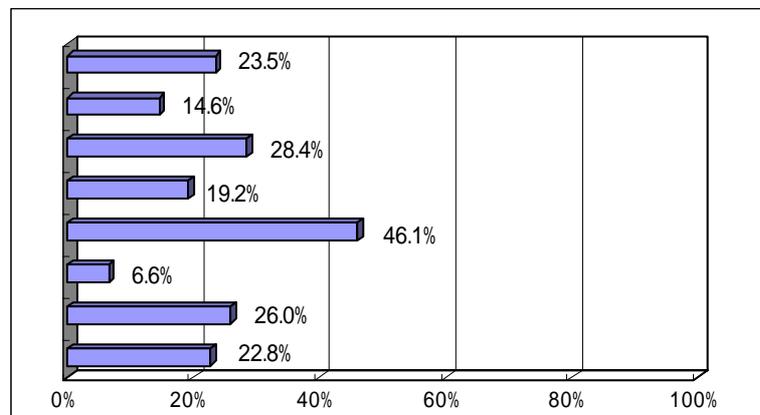
問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】

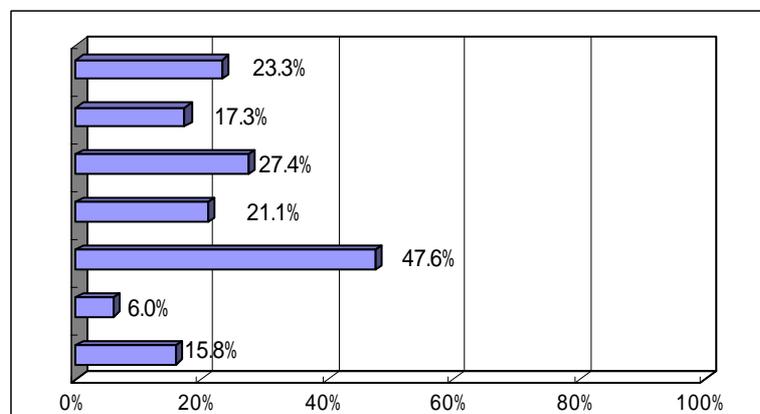


特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

【参考】平成17年度
 神戸第三学区

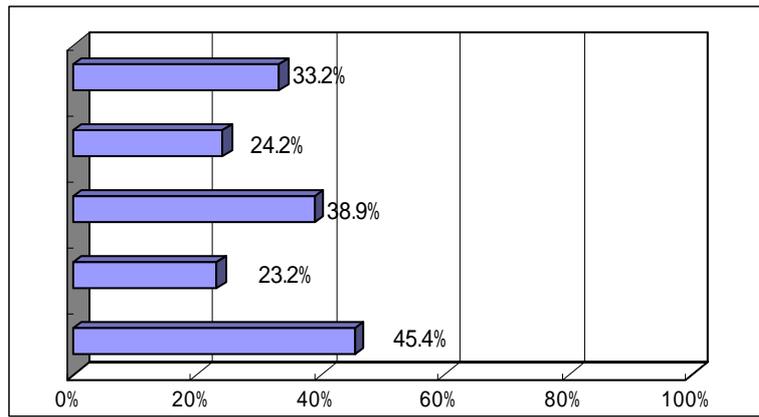


平成16年度
 神戸第三学区



特色ある学習内容 学校行事・特別活動 大学等への進学や就職の状況
 部活動 校風・学校の雰囲気 兄弟・親戚が通学している(していた) その他

平成15年度
神戸第三学区



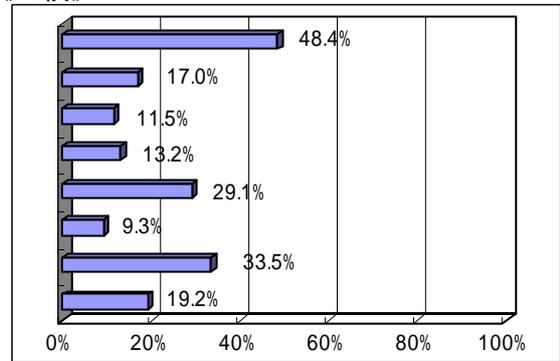
特色ある学習内容 学校行事・特別活動 大学等への進学や就職の状況
部活動 その他

[神戸第三学区の学校別での状況]

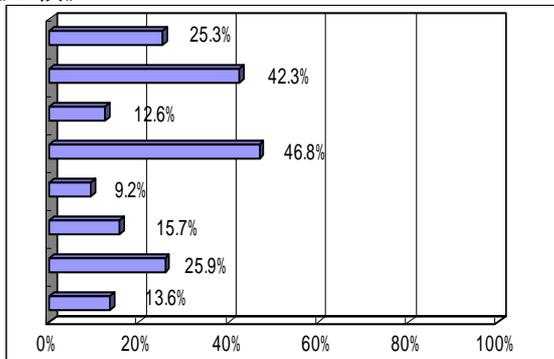
【学区全体】

特色ある学習内容	21.7%
学校行事・特別活動	16.3%
大学等への進学や就職の状況	30.1%
部活動	17.9%
校風・学校の雰囲気	47.0%
兄弟・親戚が通学	7.5%
通学時間	25.0%
その他	22.2%

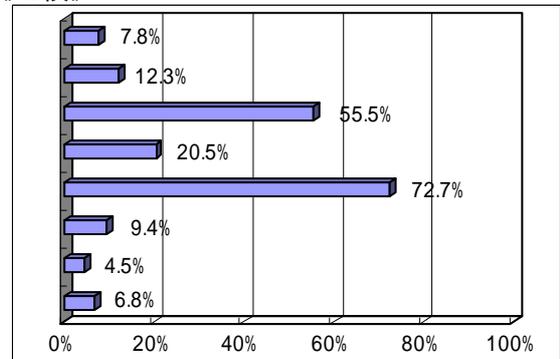
《 A校 》



《 B校 》



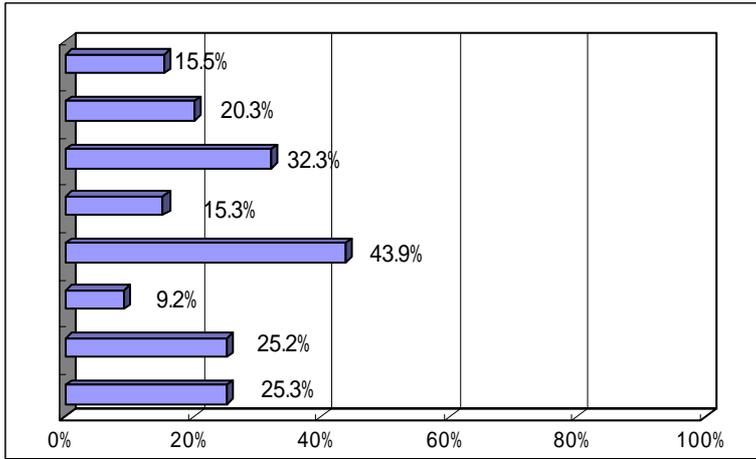
《 C校 》



b 姫路・福崎学区

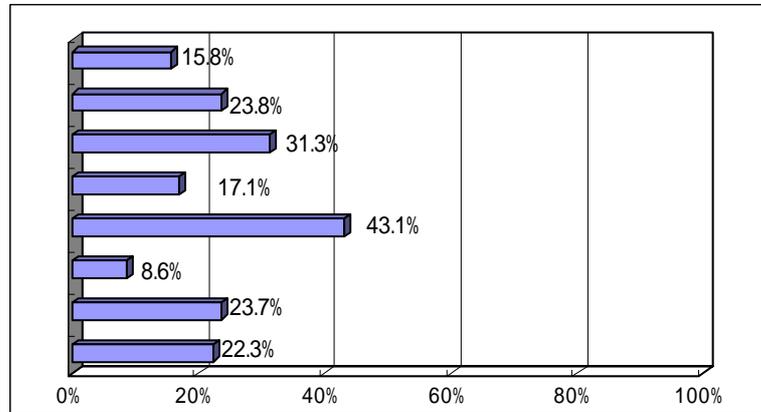
問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

【参考】平成17年度
 姫路・福崎学区

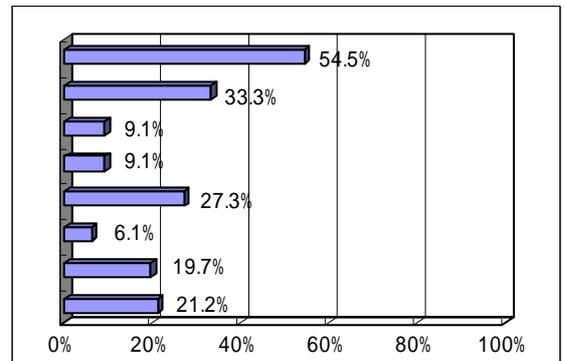


[姫路・福崎学区の学校別での状況]

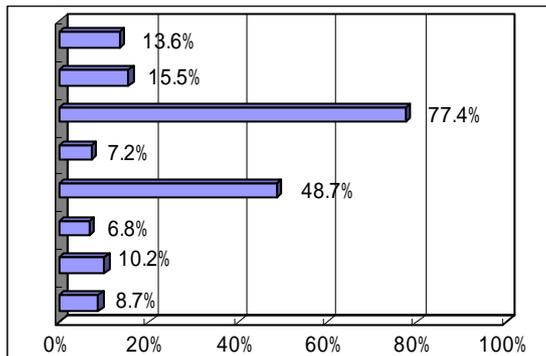
【学区全体】

特色ある学習内容	15.5%
学校行事・特別活動	20.3%
大学等への進学や就職の状況	32.3%
部活動	15.3%
校風・学校の雰囲気	43.9%
兄弟・親戚が通学	9.2%
通学時間	25.2%
その他	25.3%

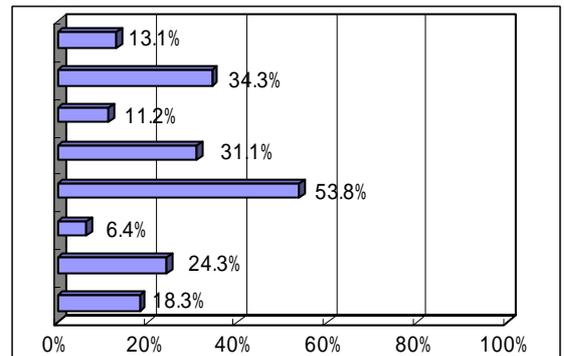
《D校》



《E校》



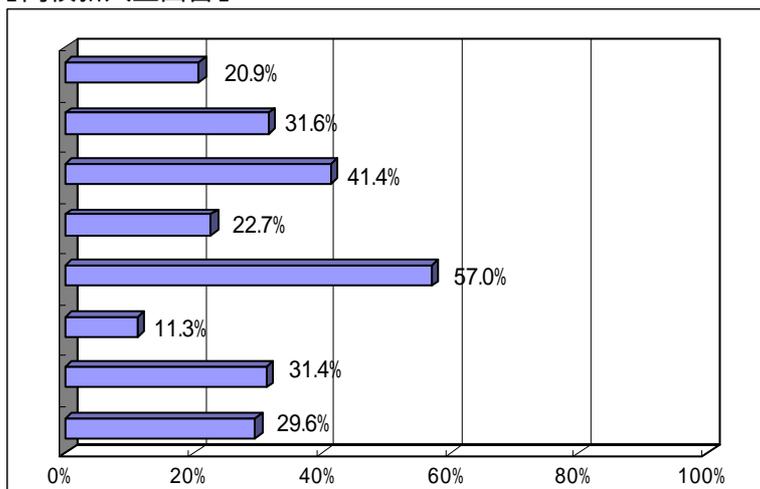
《F校》



c 加印学区

問 第1志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



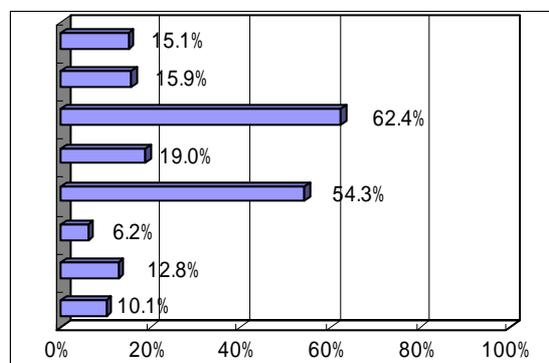
特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

[加印学区の学校別での状況]

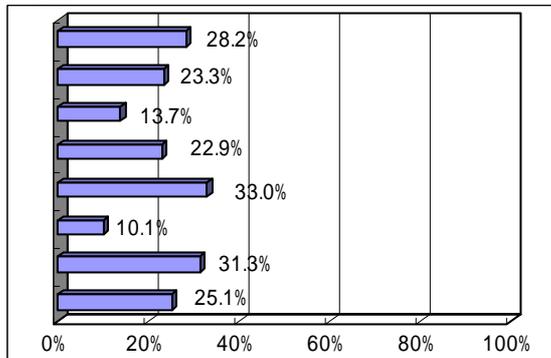
【学区全体】

特色ある学習内容	20.9%
学校行事・特別活動	31.6%
大学等への進学や就職の状況	41.4%
部活動	22.7%
校風・学校の雰囲気	57.0%
兄弟・親戚が通学	11.3%
通学時間	31.4%
その他	29.6%

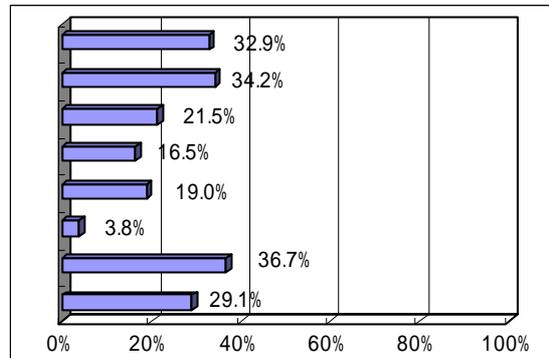
《G校》



《H校》



《I校》



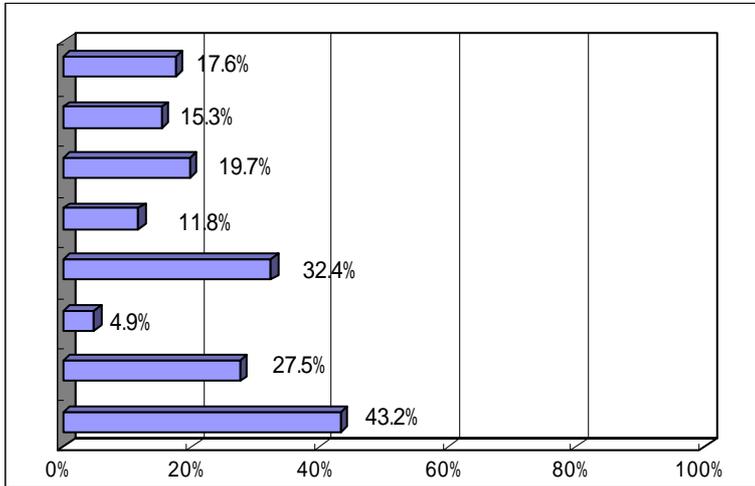
(3) 複数志願選抜の第2志望校の決め手について

いずれの学区においても、第2志望校の決め手として30%以上が「校風・学校の雰囲気」を挙げるなど、多様な決め手で学校が選択されている。

a 神戸第三学区

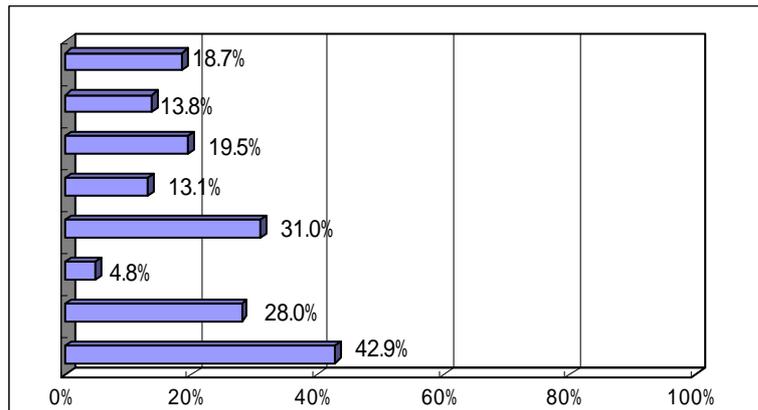
問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

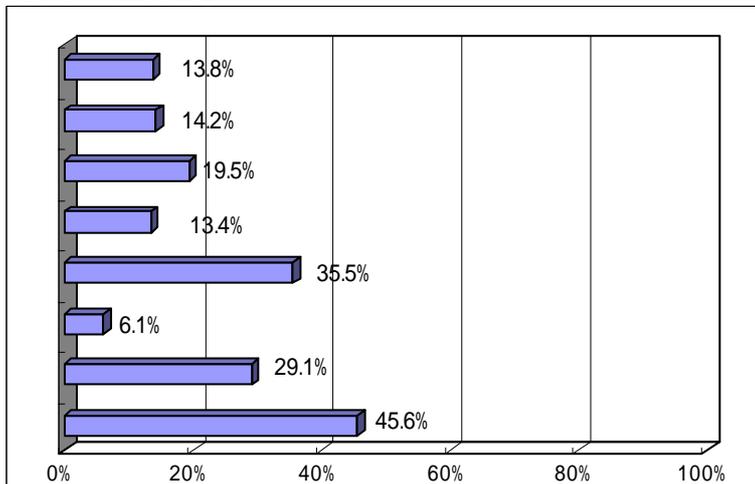
【参考】平成17年度
 神戸第三学区



b 姫路・福崎学区

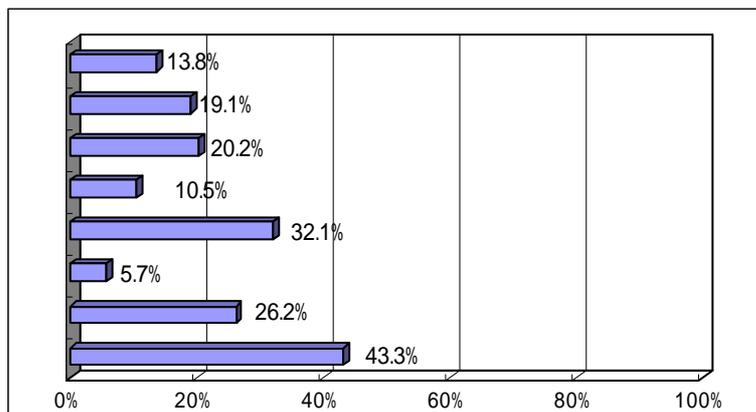
問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

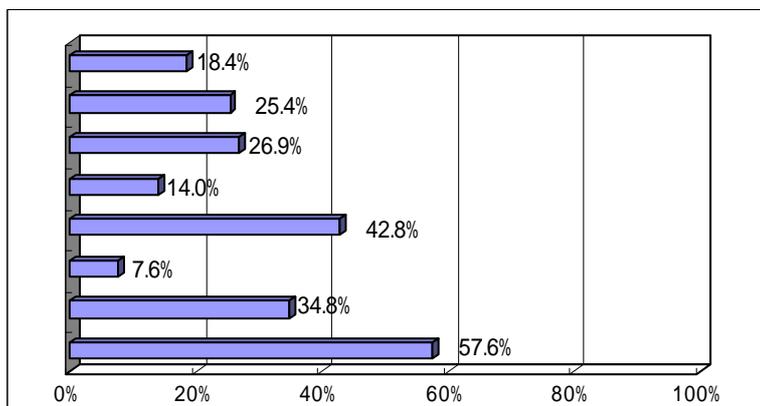
【参考】平成17年度
姫路・福崎学区



c 加印学区

問 第2志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

(4) 複数志願選抜の第1・2志望校以外の学校を希望する理由について

神戸第三学区において、新入生の回答の割合は15年度から18年度までほとんど変わっていないが、保護者の回答で「私学にはない魅力が公立高校にはあった」、「どこかの公立高校に合格できればよいと思った」を理由とするものが17年度より増えている。

姫路・福崎学区においては、他の学区に比べ新入生、保護者ともに「経済的な事情があった」、「どこかの公立高校に合格できればよいと思った」と回答した割合が低くなっている。

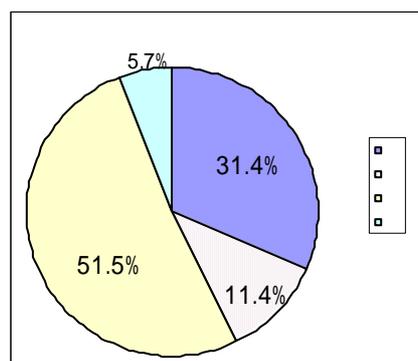
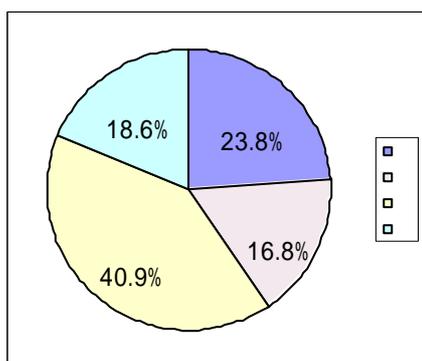
加印学区においては、新入生、保護者ともに「どこかの公立高校に合格できればよいと思った」という理由を挙げているのが約半数あった。

a 神戸第三学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



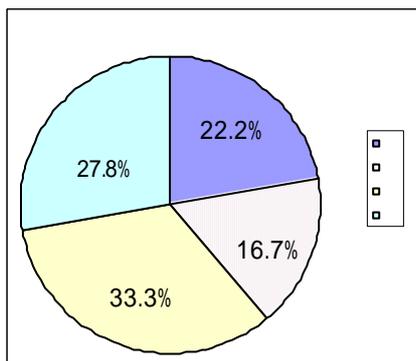
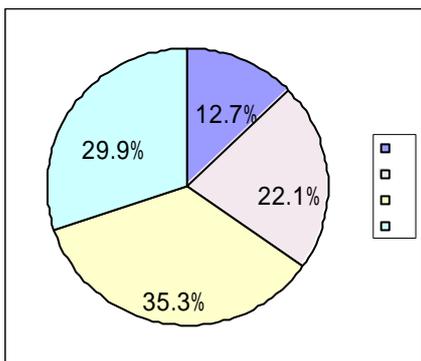
経済的な事情があった 私学にはない魅力が公立高校にあると思った
どこかの公立高校に合格できればよいと思った 特に理由はなかった

b 姫路・福崎学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



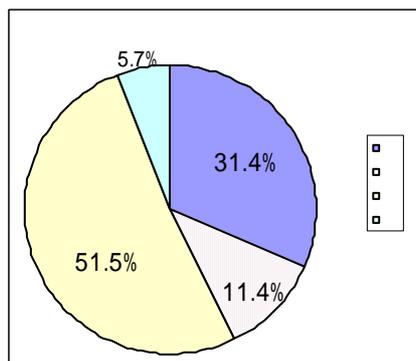
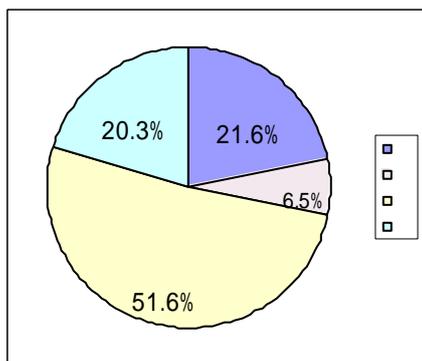
経済的な事情があった 私学にはない魅力が公立高校にあると思った
 どこかの公立高校に合格できればよいと思った 特に理由はなかった

c 加印学区

問 第1・第2志望以外の高等学校を希望した最も大きな理由は何ですか

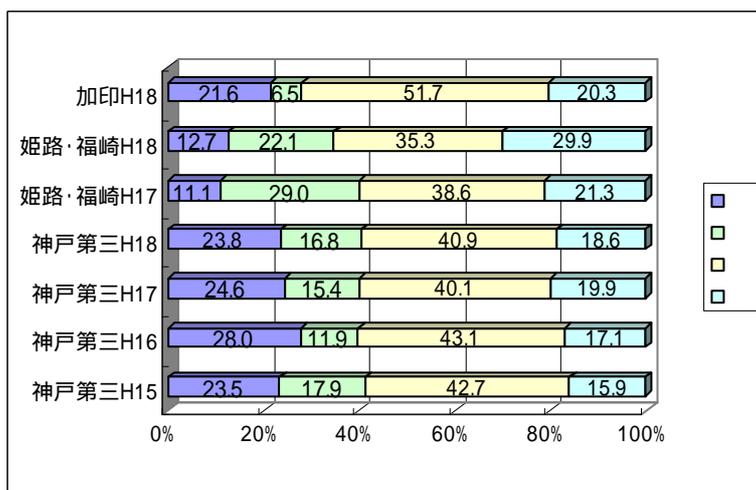
【高校新入生回答】

【高校新入生保護者回答】



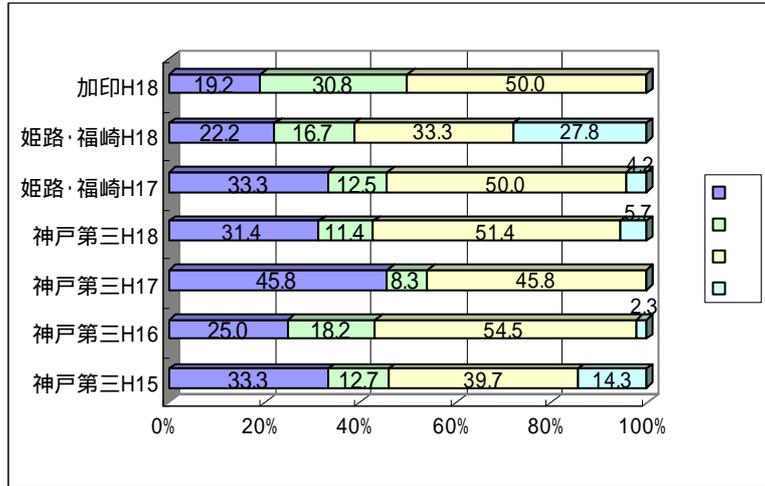
経済的な事情があった 私学にはない魅力が公立高校にあると思った
 どこかの公立高校に合格できればよいと思った 特に理由はなかった

【高校新入生回答の推移】



経済的な事情があった 私学にはない魅力が公立高校にあると思った
 どこかの公立高校に合格できればよいと思った 特に理由はなかった

【新入生保護者回答の推移】



経済的な事情があった 私学にはない魅力が公立高校にあると思った
 どこかの公立高校に合格できればよいと思った 特に理由はなかった

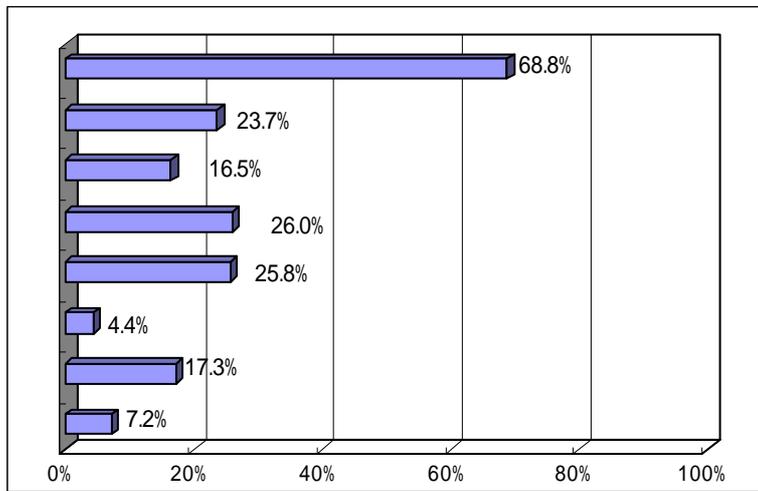
(5) 特色選抜の決め手について

いずれの学区においても、志望校の決め手は「特色ある学習内容」の割合が最も高い。

a 神戸第三学区

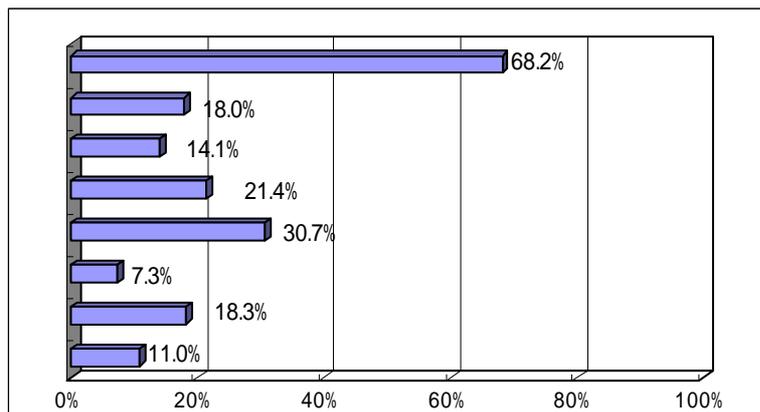
問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】

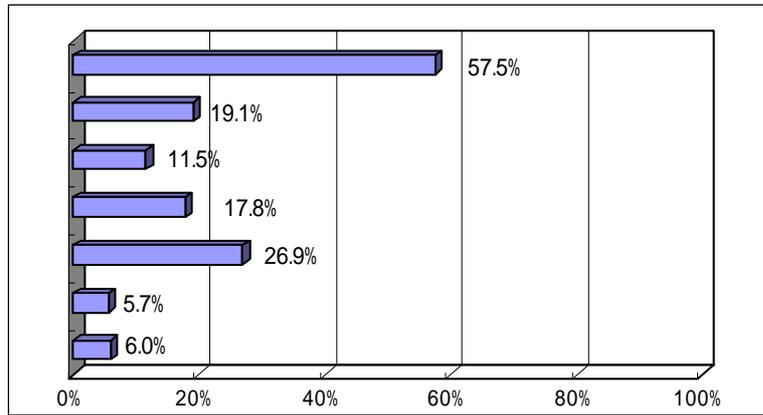


特色ある学習内容
 学校行事・特別活動
 大学等への進学や就職の状況
 部活動
 校風・学校の雰囲気
 兄弟・親戚が通学している
 (していた)
 通学時間
 その他

【参考】平成17年度
 神戸第三学区

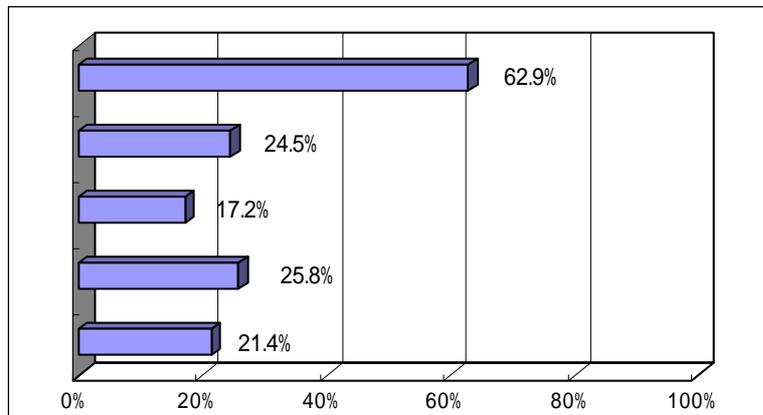


平成16年度
神戸第三学区



特色ある学習内容 学校行事・特別活動 大学等への進学や就職の状況
部活動 校風・学校の雰囲気 兄弟・親戚が通学している(していた)
その他

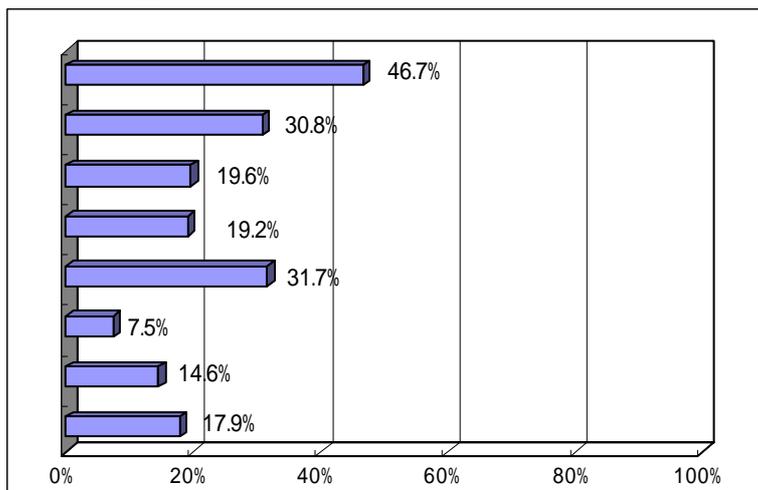
平成15年度
神戸第三学区



特色ある学習内容 学校行事・特別活動 大学等への進学や就職の状況
部活動 その他

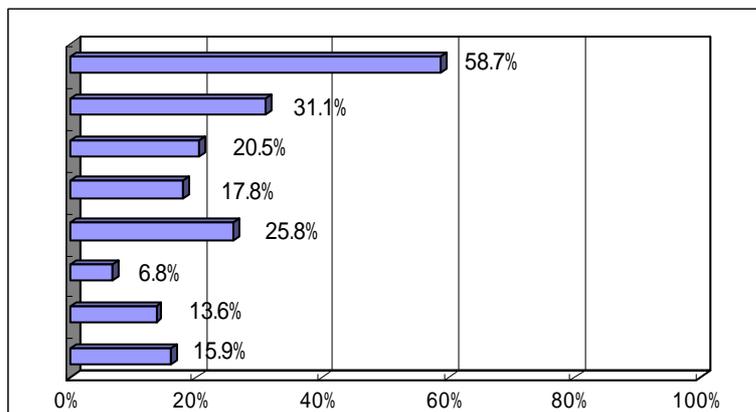
b 姫路・福崎学区

問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか
【高校新入生回答】



特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

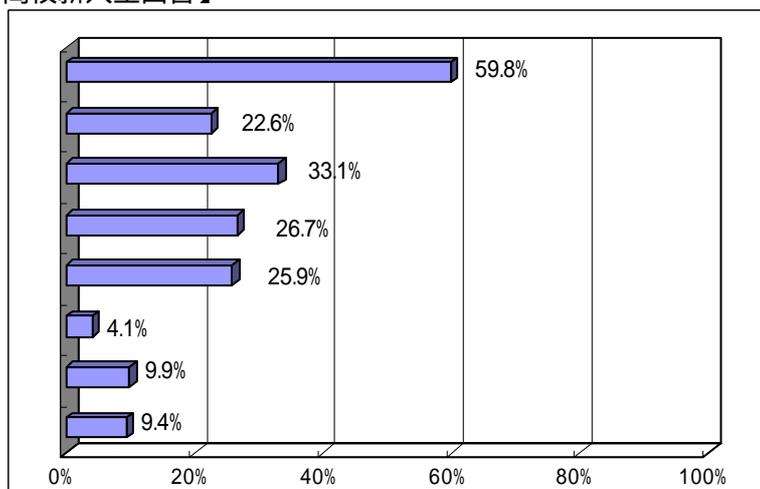
【参考】平成17年度
姫路・福崎学区



c 加印学区

問 特色選抜において志望校の決め手となった理由は何ですか

【高校新入生回答】



特色ある学習内容
学校行事・特別活動
大学等への進学や就職の状況
部活動
校風・学校の雰囲気
兄弟・親戚が通学している
(していた)
通学時間
その他

4 制度の周知・広報について

(1) 複数志願選抜の情報源について

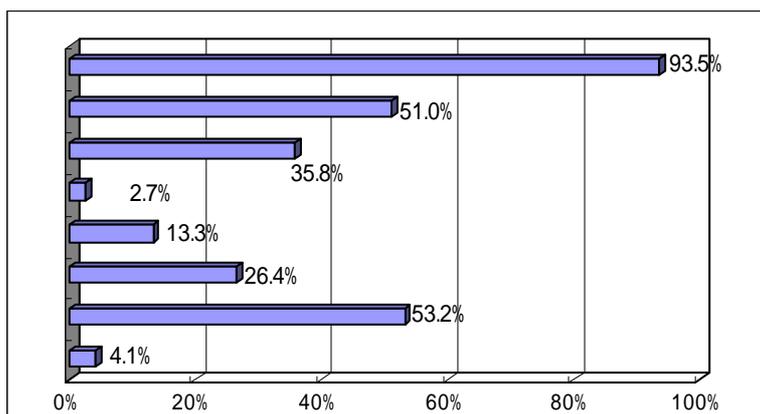
神戸第三学区、姫路・福崎学区とも、新入生・保護者のほとんどが「中学校の先生」と回答している。17年度と比較すると神戸第三学区の新入生・保護者とも「家族・親戚」の割合が高くなっており、姫路・福崎学区では「知人・先輩・友人」の割合が高くなっている。

加印学区においては、他の学区と比較して「高等学校（オープンハイスクール）」の割合がやや高い。

a 神戸第三学区

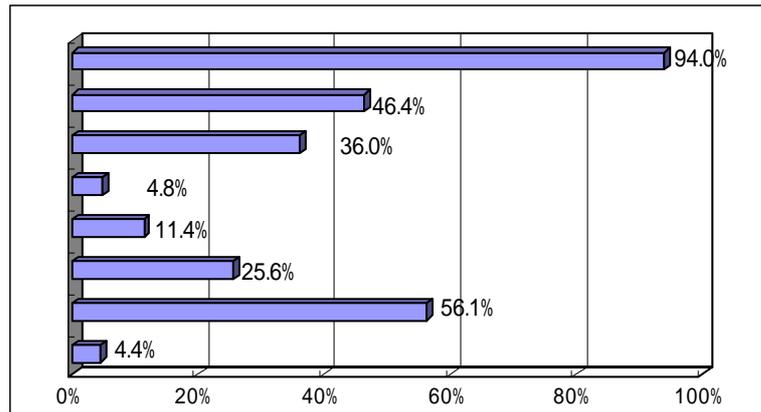
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【高校新入生回答】



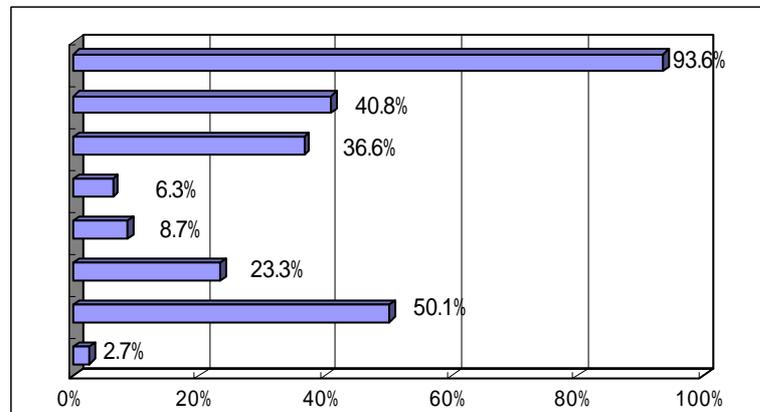
中学校の先生
家族・親戚
知人・先輩・友人
新聞
県教育委員会のホームページ、パンフレット
高等学校（オープンハイスクール等）
塾の先生
その他

【参考】平成17年度

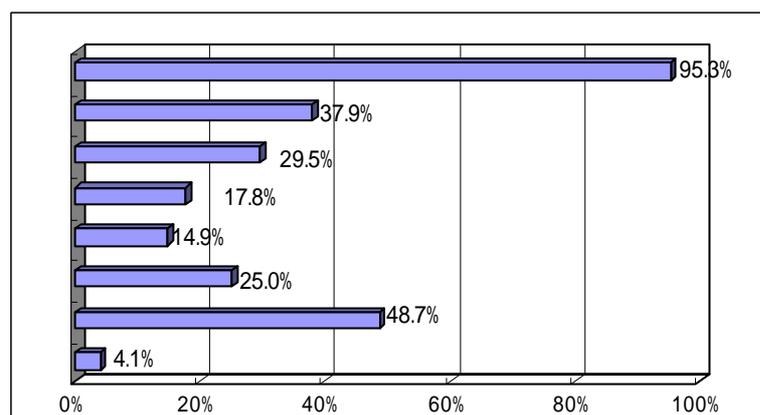


中学校の先生 家族・親戚 知人・先輩・友人 新聞
 県教育委員会のホームページ、パンフレット
 高等学校（オープンハイスクール等） 塾の先生 その他

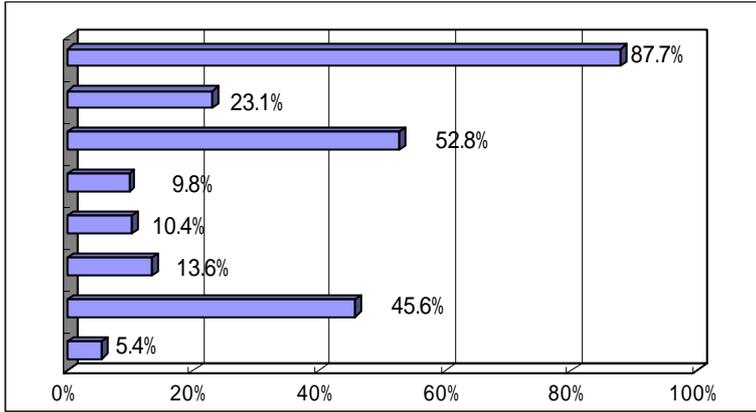
平成16年度



平成15年度

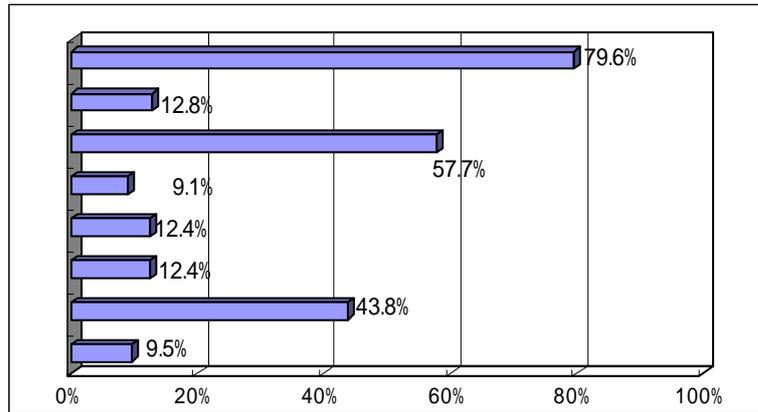


【高校新入生保護者回答】

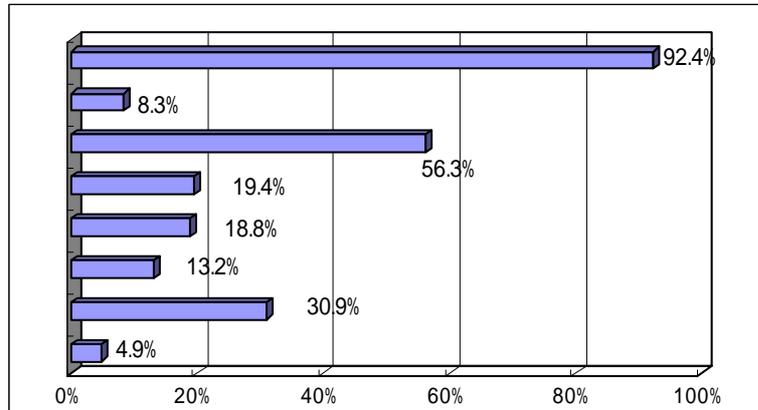


中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

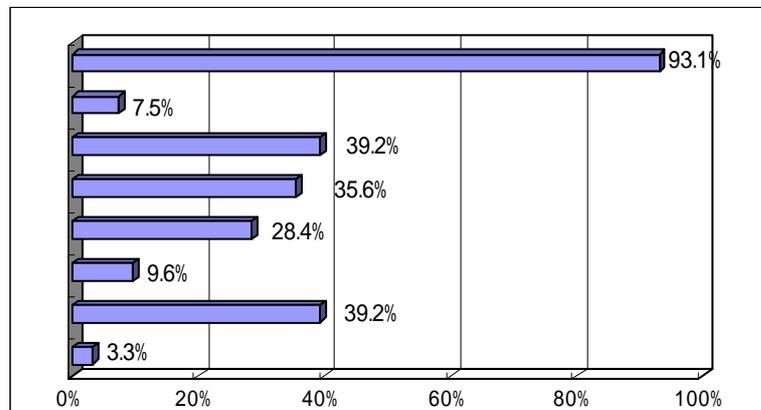
【参考】平成17年度



平成16年度



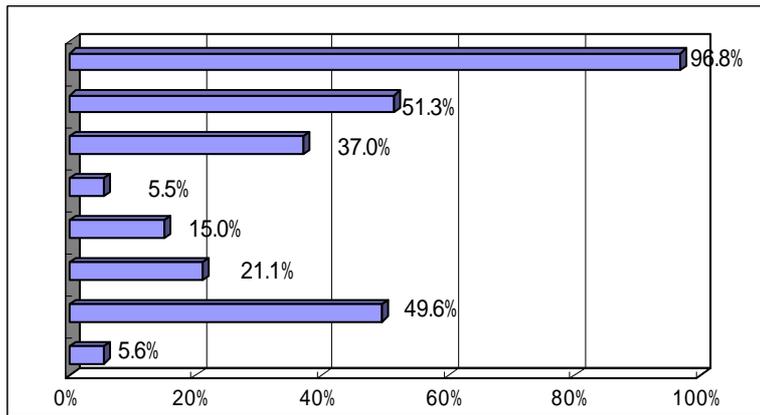
平成15年度



b 姫路・福崎学区

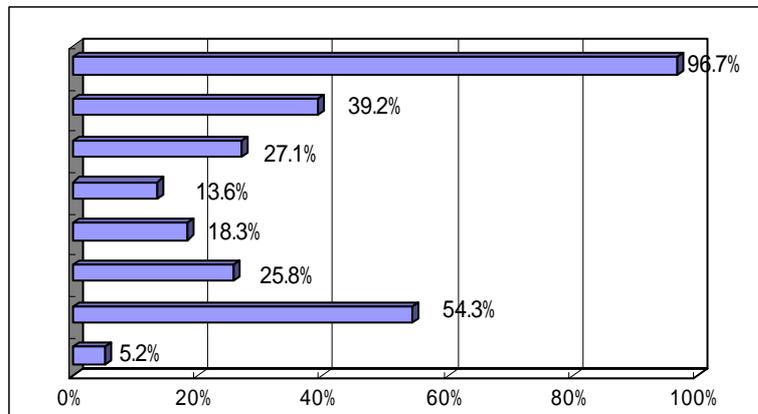
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【高校新入生回答】

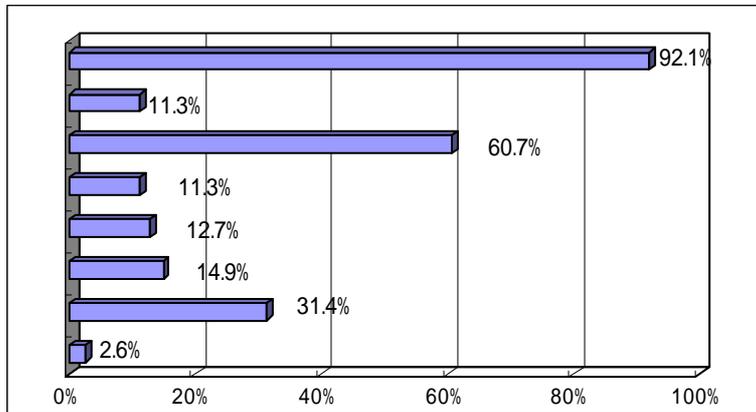


中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【参考】平成17年度

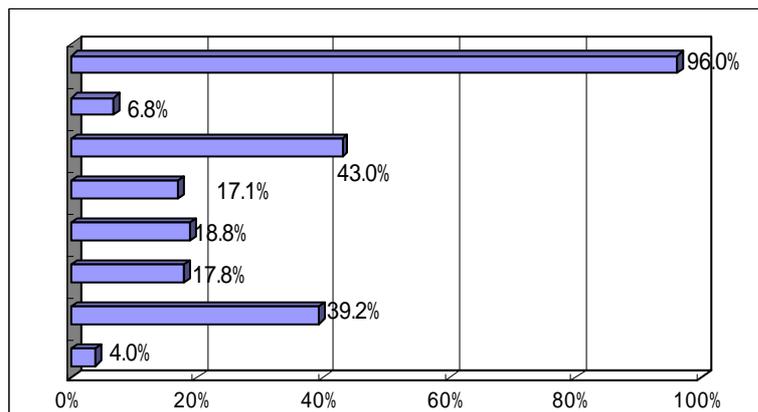


【高校新入生保護者回答】



中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

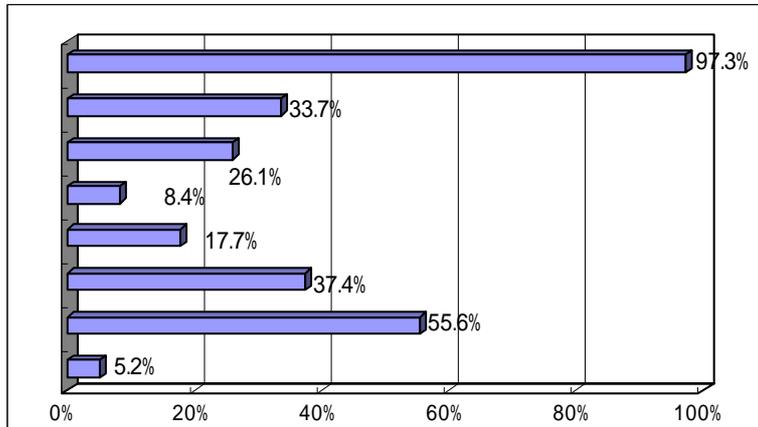
【参考】平成17年度



c 加印学区

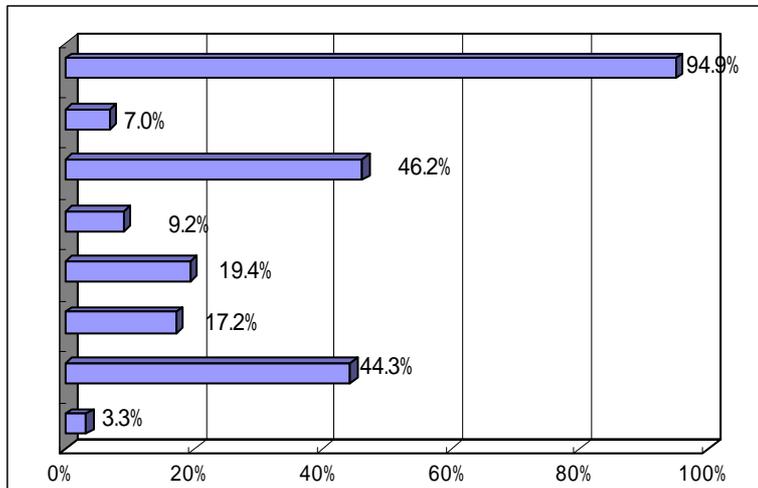
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【高校新入生回答】



中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【高校新入生保護者回答】



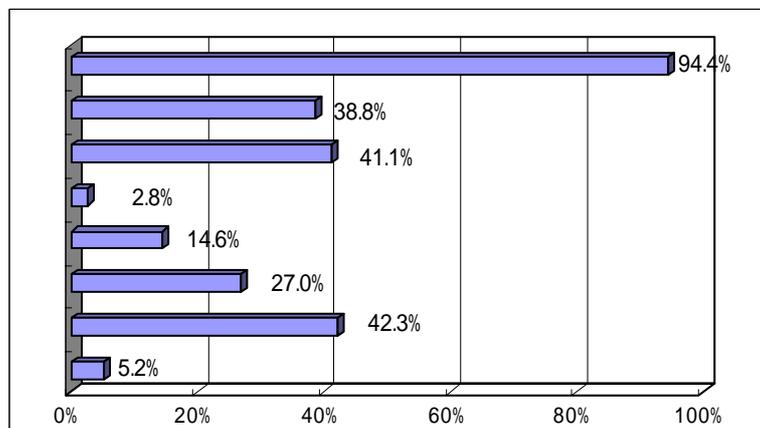
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

(2) 特色選抜の情報源について

いずれの学区とも、新入生・保護者のほとんどが「中学校の先生」と回答している。

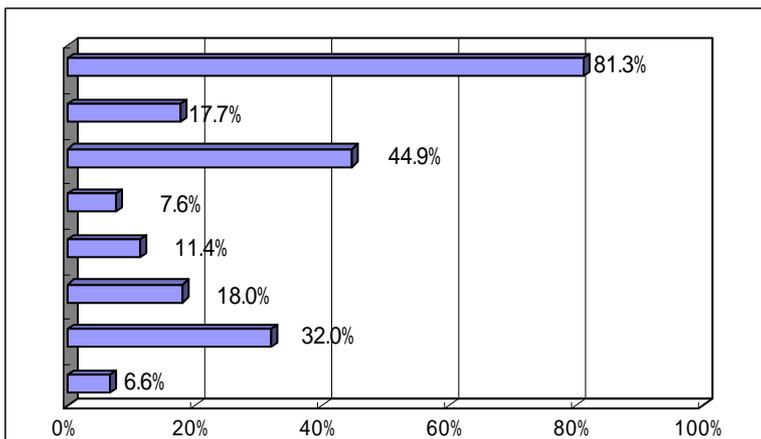
問 複数志願選抜の内容についての情報は主に誰（どこ）から得ましたか。

【神戸第三学区 高校新入生回答】



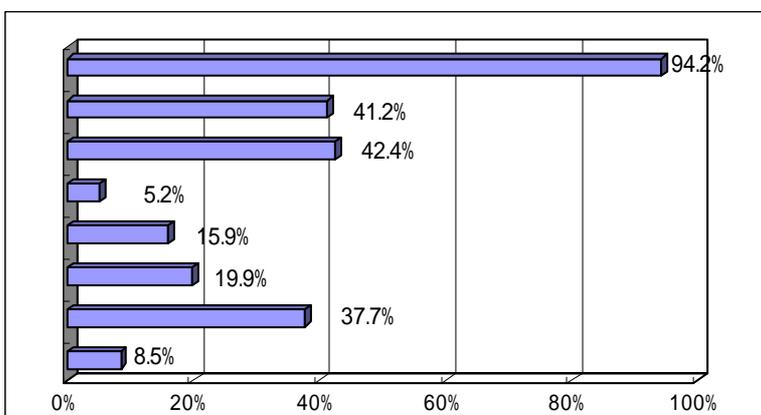
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【神戸第三学区 高校新入生保護者回答】



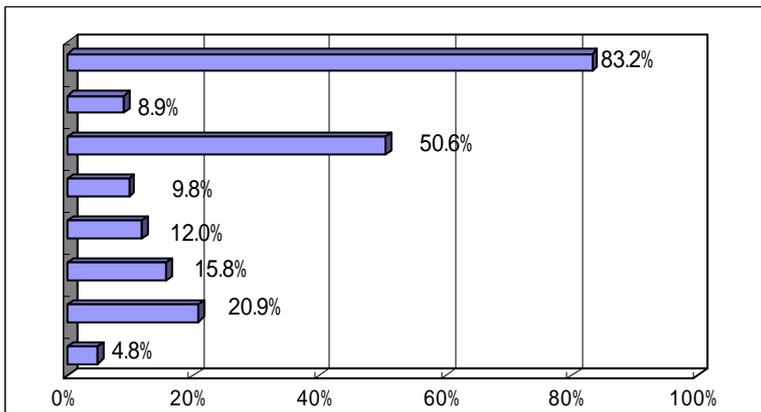
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【姫路・福崎学区 高校新入生回答】



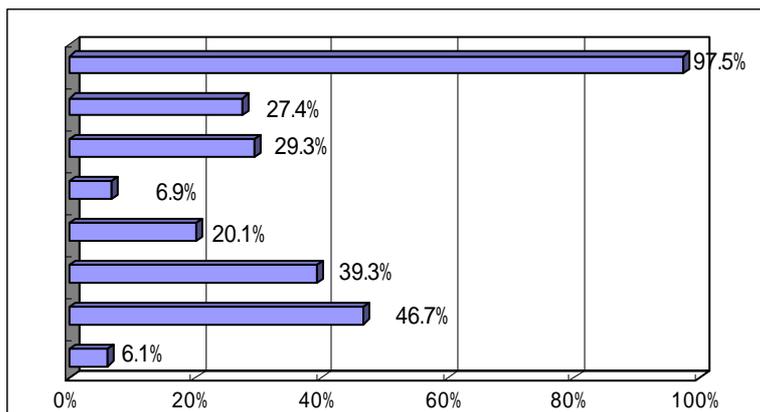
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【姫路・福崎学区 高校新入生保護者回答】



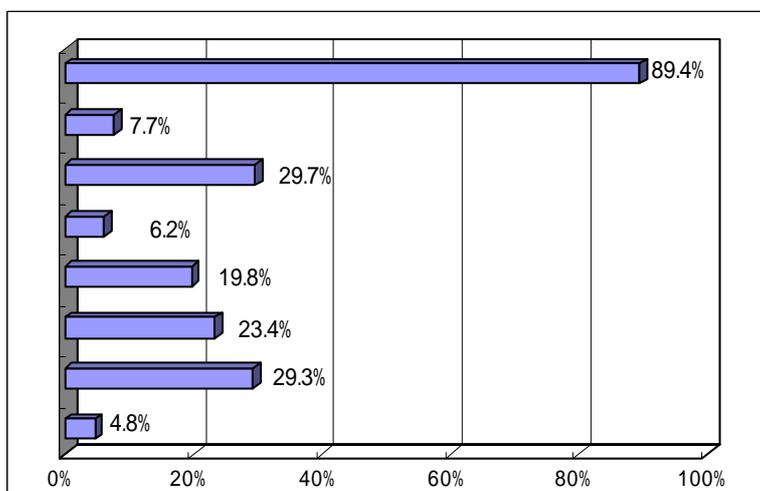
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【加印学区 高校新入生回答】



中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

【加印学区 高校新入生保護者回答】



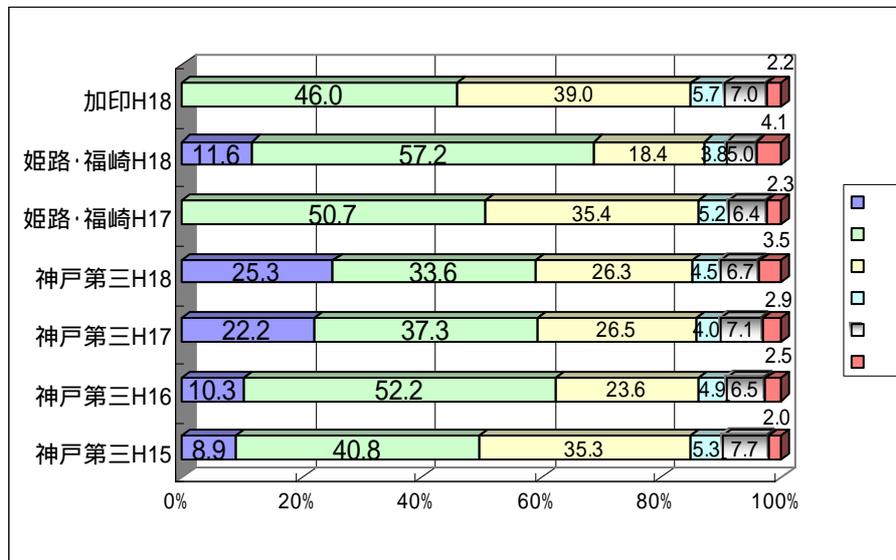
中学校の先生
 家族・親戚
 知人・先輩・友人
 新聞
 県教育委員会のホームページ、
 パンフレット
 高等学校（オープンハイスク
 ール等）
 塾の先生
 その他

(3) 複数志願選抜制度の導入を知った時期について

中学2年生までに知った割合は神戸第三学区で約59%、姫路・福崎学区では約69%である。導入初年度の加印学区では中学3年の1学期までが85%であり、これは姫路・福崎学区の導入年度と同様である。神戸第三学区及び姫路・福崎学区において、保護者が中学1年生までに知った割合は新入生より高い。

問 複数志願選抜となる事を初めて知ったのはいつ頃ですか。

【新入生回答】



中学1年生
 中学2年生
 中学3年生の1学期
 中学3年生の夏休み
 中学3年生の2学期
 中学3年生の冬休み以降

加印H18：加印学区平成18年度新入生

姫路・福崎H18：姫路・福崎学区平成18年度新入生

神戸第三H18：神戸第三学区平成18年度新入生

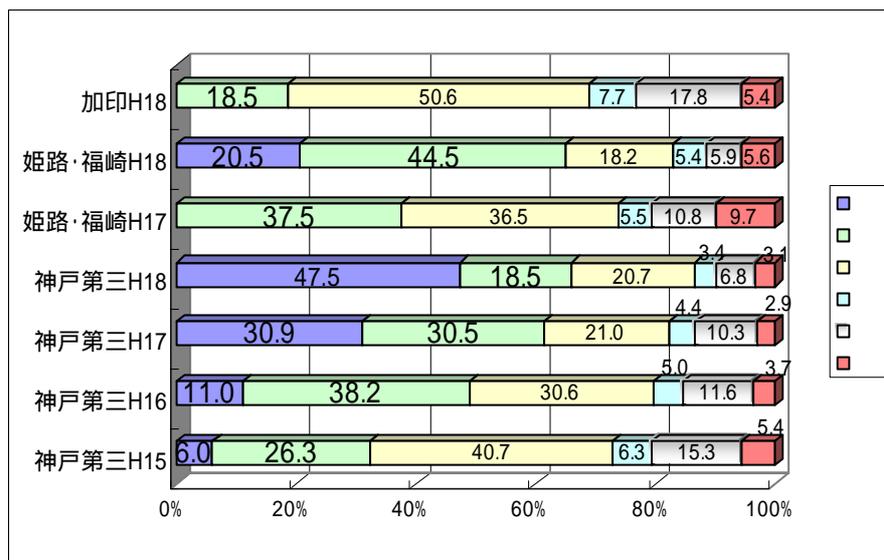
神戸第三H16：神戸第三学区平成16年度新入生

姫路・福崎H17：姫路・福崎学区平成17年度新入生

神戸第三H17：神戸第三学区平成17年度新入生

神戸第三H15：神戸第三学区平成15年度新入生

【新入生保護者回答】

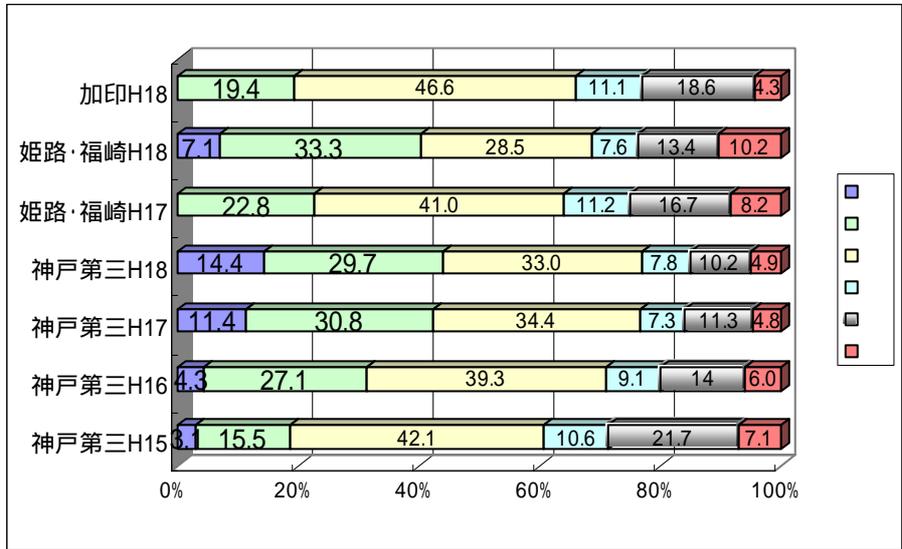


中学1年生
 中学2年生
 中学3年生の1学期
 中学3年生の夏休み
 中学3年生の2学期
 中学3年生の冬休み以降

(4) 特色選抜制度の導入を知った時期について

中学2年生までに知った割合は新入生では神戸第三学区で約44%、姫路・福崎学区で約40%、加印学区で約20%である。神戸第三学区及び姫路・福崎学区においては、保護者は新入生よりその割合が高く、神戸第三学区では約66%、姫路・福崎学区では約65%である。

問 特色選抜となる事を初めて知ったのはいつ頃ですか。
【新入生回答】

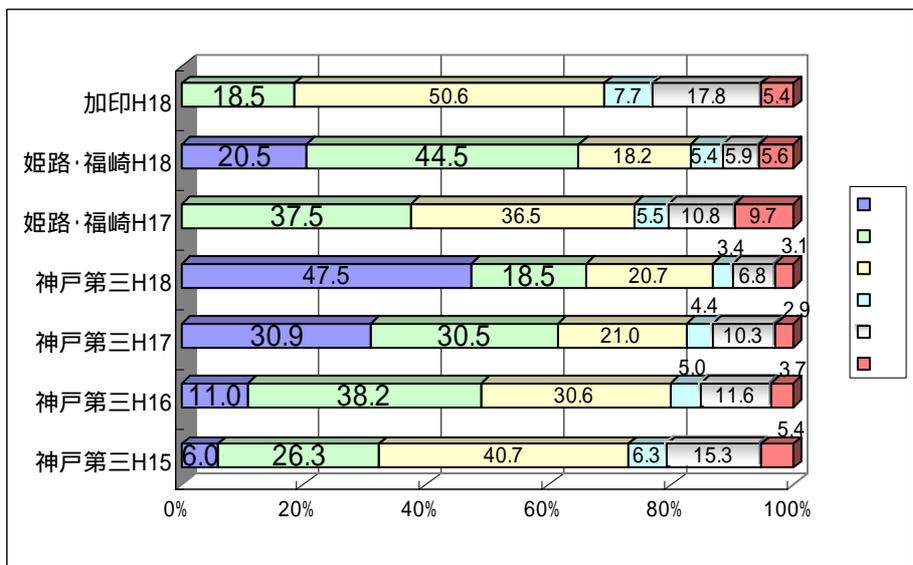


中学1年生
 中学2年生
 中学3年生の1学期
 中学3年生の夏休み
 中学3年生の2学期
 中学3年生の冬休み以降

加印H18：加印学区平成18年度新入生
 姫路・福崎H18：姫路・福崎学区平成18年度新入生
 神戸第三H18：神戸第三学区平成18年度新入生
 神戸第三H16：神戸第三学区平成16年度新入生

姫路・福崎H17：姫路・福崎学区平成17年度新入生
 神戸第三H17：神戸第三学区平成17年度新入生
 神戸第三H15：神戸第三学区平成15年度新入生

【新入生保護者回答】



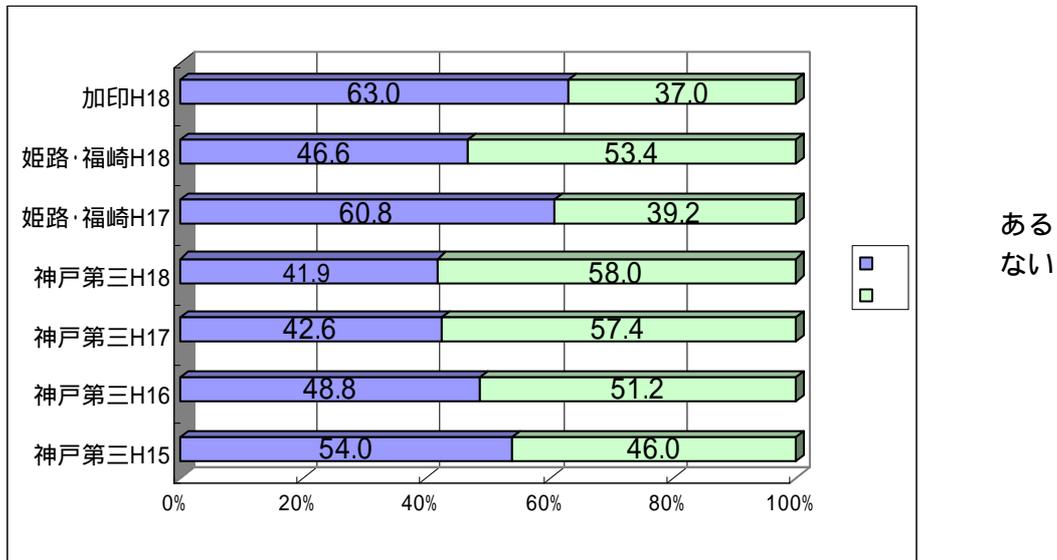
中学1年生
 中学2年生
 中学3年生の1学期
 中学3年生の夏休み
 中学3年生の2学期
 中学3年生の冬休み以降

(5) 広報用パンフレットについて

加印学区では、神戸第三学区及び姫路・福崎学区に比べて、パンフレットを見た割合が多く広報活動の効果が現れている。パンフレットを見たことがある者については神戸第三学区では約88%、姫路・福崎学区で約83%、加印学区では約83%が内容を理解できたと回答している。

問 県教育委員会が作成した「新しい選抜制度（特色選抜・複数志願選抜）」のパンフレットを見たことがありますか。

【新入生回答】

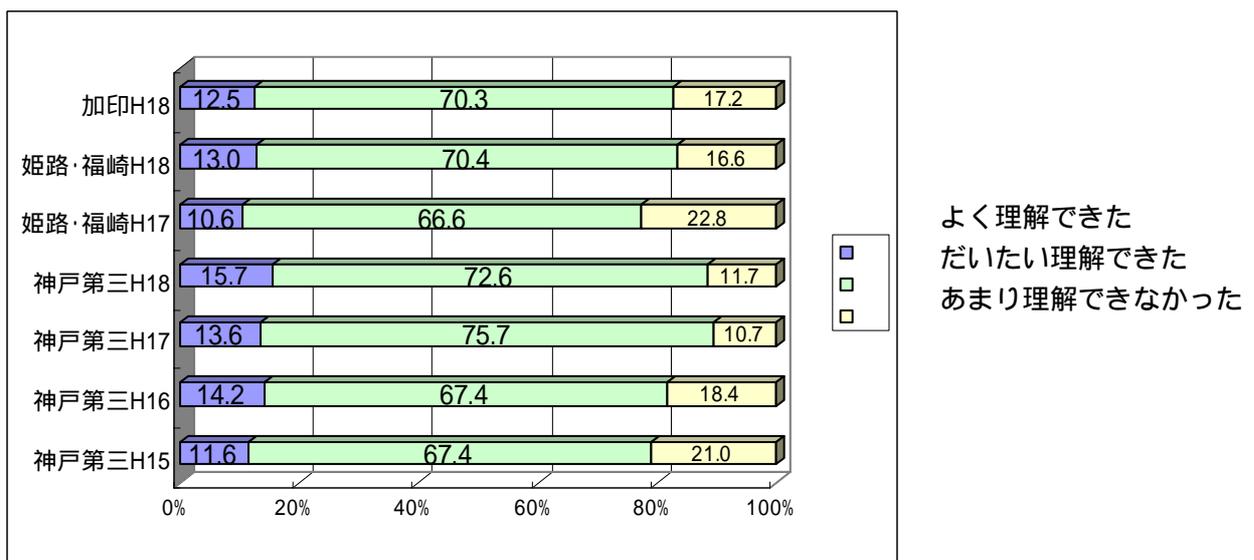


加印H18：加印学区平成18年度新入生
 姫路・福崎H18：姫路・福崎学区平成18年度新入生
 神戸第三H18：神戸第三学区平成18年度新入生
 神戸第三H16：神戸第三学区平成16年度新入生

姫路・福崎H17：姫路・福崎学区平成17年度新入生
 神戸第三H17：神戸第三学区平成17年度新入生
 神戸第三H15：神戸第三学区平成15年度新入生

問 「新しい選抜制度（特色選抜・複数志願選抜）」のパンフレットを見たことがある人について、内容が理解できましたか。

【新入生回答】



5 志望動向の変化について

a 神戸第三学区

問 生徒の志願の動向に、平成17年度と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・専門学科への出願が減少した。
- ・複数志願選抜で第2志望、その他校志望の生徒が増加した。
- ・複数志願選抜で第2志望、その他校志望の生徒が減少した。
- ・その他校志望の生徒が減少した。

b 姫路・福崎学区

問 生徒の志願の動向に、平成17年度と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・志望状況が安定してきた。
- ・行きたい高校を第1志望とする傾向があった。
- ・私立高校を受検しない生徒が増えた。
- ・第1志望のみの生徒が増えた。
- ・特色選抜の定員が増加したため、出願者が増加した。年々、推薦入試への志願者が増加している。
- ・出願までに志望校を変える生徒が多くなった。
- ・前年度の個別の合否に影響され出願していた。

c 加印学区

問 生徒の志願の動向に、平成17年度（単独選抜最終年度）と比べて変化がありましたか

【中学校回答】

- ・複数志願により受かる学校から学びたい学校へ志望を変える生徒が増えた。
- ・複数志願により総合学科、単位制高校希望から普通科希望へ変更した生徒がいた。
- ・単位制高校への第1志望が少なかった。
- ・複数志願により公立高校重視の生徒にとっては少し安心できた受検となった。
- ・志願変更がないので安全策をとる生徒がいた。
- ・第1志望校のみ希望し、不合格の場合は私立高校へ進学する生徒が増えた(多かった)。
- ・私立専願が減少し、公立高校普通科希望が増えた。
- ・第2志望までじっくりと考えた志願になった。
- ・普通科以外への推薦入試志願者が増えた。
- ・特色選抜志願者が増えた。

6 自由意見

a 神戸第三学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・複数校志願により安心して受検できることから、結果として第1志望校の合格率も増加している。
- ・進路を考える上で、各高校の特色は重要であった。各高校は特色化に努力している。

制度の改善を求める意見

- ・特色選抜は個性や能力を多面的に評価するものだが、単純に成績の順番で合否が決まっていると生徒・保護者は感じている。
- ・特色選抜において、各高校が定める「生徒に求める条件」が不明確である。情報が少ない。
- ・特色選抜の定員を増やして欲しい。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・第2志望校に合格となったが、最初のショックから立ち直り少しずつ学校になじみ、張り切って通学している。
- ・子どもたちにとって有り難い制度であった。公立、私立の二者択一では辛い思いをする。
- ・中3の夏にこの学区に引っ越しをし、理解不足となったが、多少安心感を持って公立受験ができた。
- ・合格が厳しいとわかっていても受けたいところをうけさせ納得して、今の高校（第2志望）生活を楽しんでいる。この制度はとて有り難かった。

制度の改善を求める意見

- ・情報源が学校のみだったので、実際に体験した人の話を聞くことができず不安感が残った。
- ・学校からの保護者対象の説明会がなく、情報が少なかった。
- ・特色選抜で実力以上の高校に入学する場合があります、授業についていけない不安がある。

その他

- ・もう少し早い時期から制度についての説明があればよかった。
- ・志望校を決めるのがとても難しかった。
- ・新しい選抜制度の実施によるメリット、デメリットがよくわからない。
- ・第2志望校をどの高校にするか悩んだ。

b 姫路・福崎学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・制度については2年目で定着し、生徒・保護者の理解も進み、大きく問題になることはなかった。
- ・特色選抜の定員が増加したのがよかった。

制度の改善を求める意見

- ・特に、特色選抜についての情報が少なかった。
- ・定員割れの高校があり、指導の難しさを感じた。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・早期の説明会実施により子どもたちも早くから自分の進路について考える機会となった。
- ・経済的な理由でどうしても公立高校に入学したいという家庭にとってはよい制度である。
- ・公立高校へ入学できるチャンスが増えて良いと思う。

制度の改善を求める意見

- ・兵庫県で様々な入試制度を統一した制度にして欲しい。
- ・第2志望の入学者がいるので、実質の倍率が難しい
- ・複数志願選抜に専門学科も含めて欲しい。
- ・その他校を志望した場合、どこの学校になるかが不安であった。
- ・定員割れした学校は2次募集をして欲しい。

その他

- ・学校選びに苦労した。
- ・合格発表の方法を工夫して欲しい。特に第2志望校合格の場合。

c 加印学区

問 その他本年度の複数志願選抜及び特色選抜についての感想があればお書き下さい。

【中学校回答】

制度を評価する意見

- ・特色選抜は目的意識を持った生徒が受検し、合否に関係なく意義があった。
 - ・生徒は安心して受検できるようになった。
- 制度の改善を求める意見
- ・選抜要綱を早期提示してほしい。
 - ・特色選抜における各学校の「特色」「求める生徒像」が明確でない。
 - ・第2志望校の決定について指導の難しさを感じた。

【保護者回答】

制度を評価する意見

- ・特色選抜により、子どもが目標を持って進学できたことがよかった。
- ・特色選抜については、個性を伸ばす制度として魅力を感じる。
- ・第2志望校への入学だが子どもは「学校は充実していて楽しい」といっている。
- ・すばらしい制度です。
- ・公立高校に合格できるチャンスが広がりよかった。
- ・中学校の指導に反して、第1志望校、第2志望校を決めたが、第2志望校に合格できて有り難かった。第2志望の選択方法をわかりやすく説明して欲しい。

制度の改善を求める意見

- ・はじめての制度だったので、情報が少なくとまどった。
- ・単位制、総合学科も複数志願選抜を実施して欲しい。
- ・特色選抜の内容がわからないままであった。説明をしっかりとって欲しかった。

その他

- ・第1・第2志望校を希望するより、第1志望校のみを希望する方が受かりやすいという誤った噂があり、徹底した説明を望む。
- ・第2志望校をどの高校にするか悩んだ。